

# 2023年9月期 会社説明会資料

2023年11月



DAISHI HOKUETSU  
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

これからも、地域と共に

150<sup>th</sup>

第四北越フィナンシャルグループは設立5周年

第四北越銀行は創立150周年を迎えました

- 国内で現存する銀行のなかで最も歴史を有する銀行です

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

## 主なポイント

.....	2
-------	---

## 2023年9月期決算

FG連結中間純利益	4
部門別 中間純利益の状況	5
FG連結増減要因	7
銀行部門	
銀行単体増減要因	8
貸出金残高	9
預金等残高	10
非金利収益分野	11
有価証券	12
経費	14
不良債権比率／ネット信用コスト	15
FG連結自己資本比率	16
経営統合によるシナジー	17
2024年3月期 業績予想	20

## 第二次中期経営計画

### ■ 3大シナジーの発揮

持続的な成長に向けた第四北越FGの取り組み	22
合併シナジー	23
グループシナジー	31
TSUBASA連携シナジー	35

### ■ 人的資本価値の向上

人的資本経営の実践	39
従業員エンゲージメントの向上・人財育成	40
ダイバーシティ・健康経営	41

### ■ サステナビリティへの取り組み

第四北越FGのサステナビリティへの取り組み方針	43
第四北越FG 自社の取り組み	44
地域・お客さまの課題解決に向けた取り組み	45

### ■ ガバナンス・資本政策

持続的成長を支えるガバナンス体制	49
政策保有株式縮減に向けた取り組み	50
2024年3月期 配当金予想	51
PBRの改善に向けた取り組み	52

## Appendix

経営指標	55
ポートフォリオ変革の深化に向けた6指標	56
地域への貢献に関する評価指標	57
2023年9月期決算 概要	58
貸出金分野	60
預金等残高・預かり資産残高	62
非金利収益分野／経費	63
有価証券分野	64
不良債権比率／ネット信用コスト	66
資本配賦	67
自己資本比率	68
グループ各社の状況	69



銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2023年度  
第二次中期経営計画最終年度

2021年  
4月

2024年  
3月

2023年9月期

FG連結中間純利益は当初業績予想を上回り、かつ前年同期比でも増益

組織総合力は着実に向上し、3つのシナジーを最大限発揮

合併シナジー

ダイナミックな経営資源の再配分の大宗を完了しコンサルティング力を強化

グループシナジー

第二次中期経営計画期間中におけるグループ再編は完了し15社体制へ

TSUBASA連携シナジー

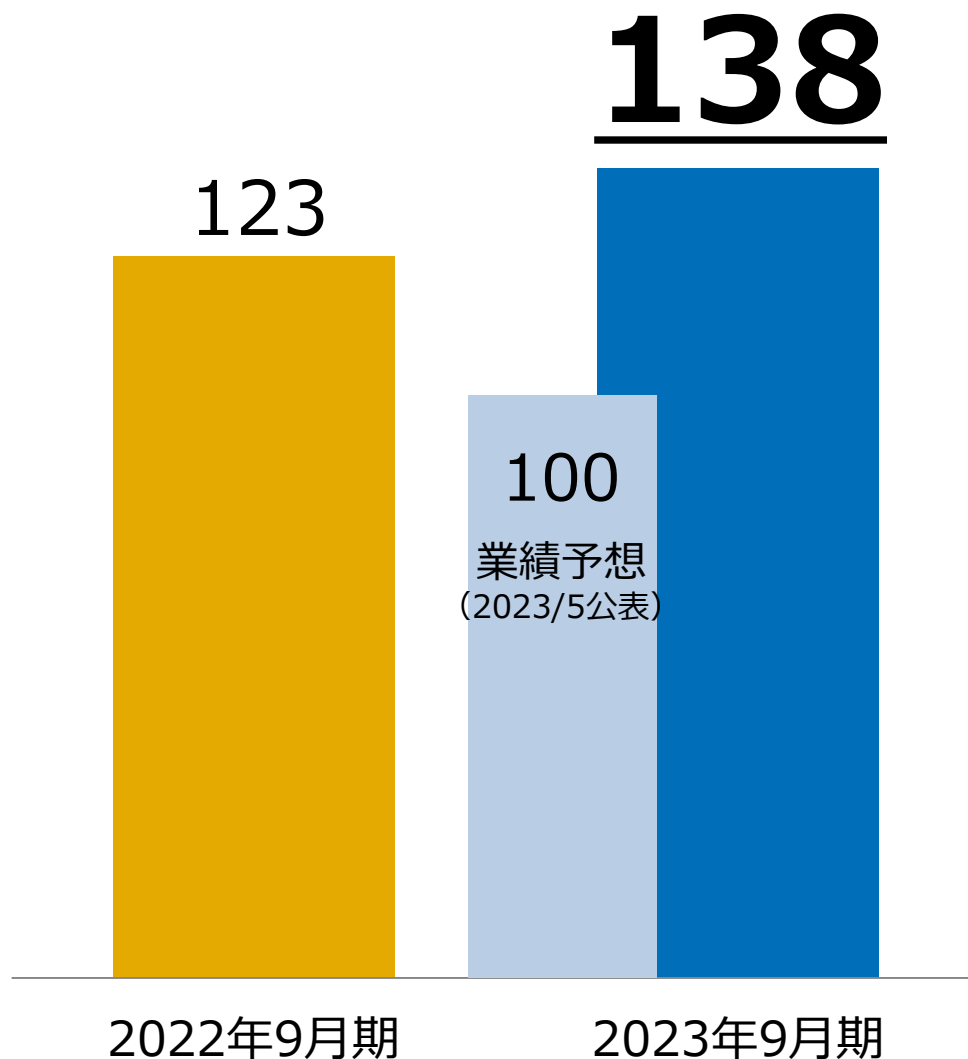
TSUBASA、群馬・第四北越の両アライアンスの連携領域は一層拡大

第二次中期経営計画は完遂に向けて順調に進捗中

- ✓ 地域・お客さまの課題解決に向けて、新潟県内トップの金融・情報サービスグループとして全役職員が“一志団結”でコンサルティング営業を実践

# 2023年9月期決算

FG連結 (億円)



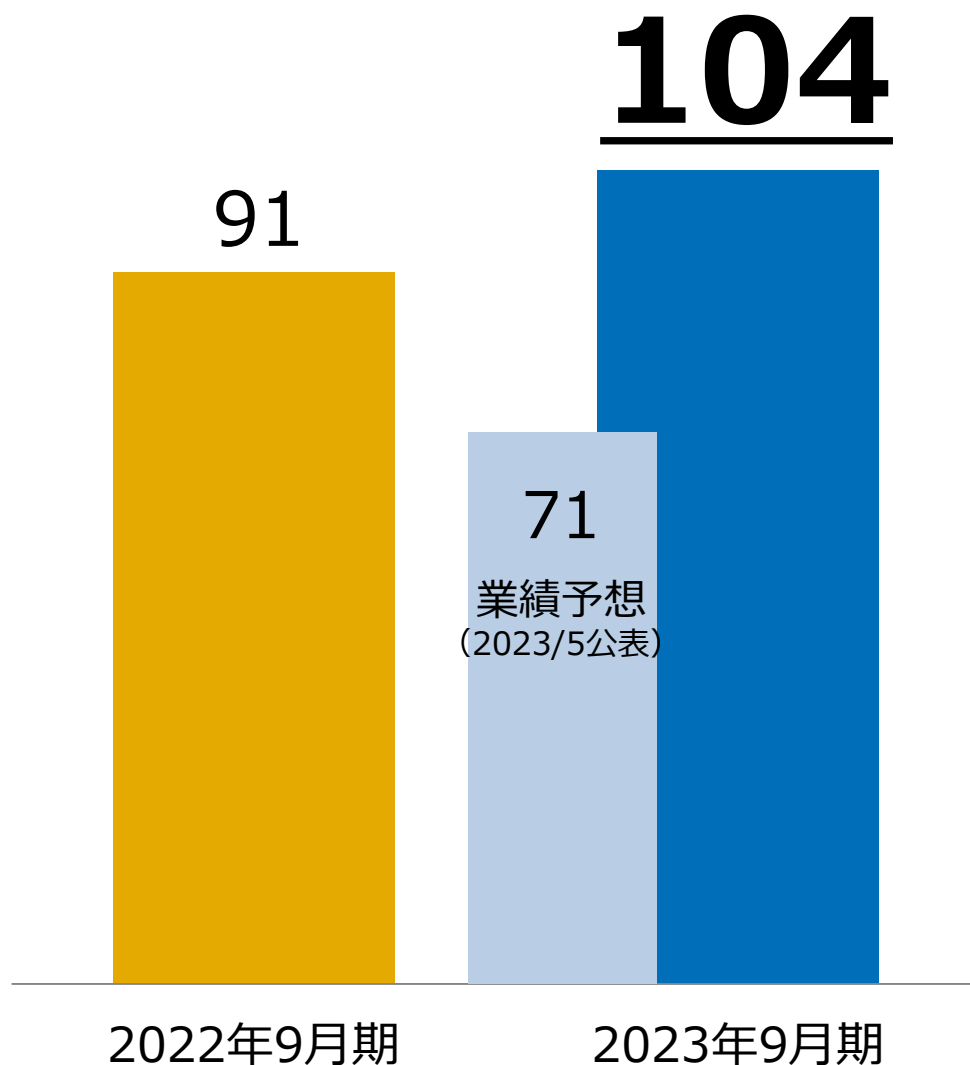
前年同期比

+ 14億円  
(+ 11.6%)

業績予想比

+ 38億円  
(+ 38.1%)

## 銀行単体 (億円)



## 前年同期比

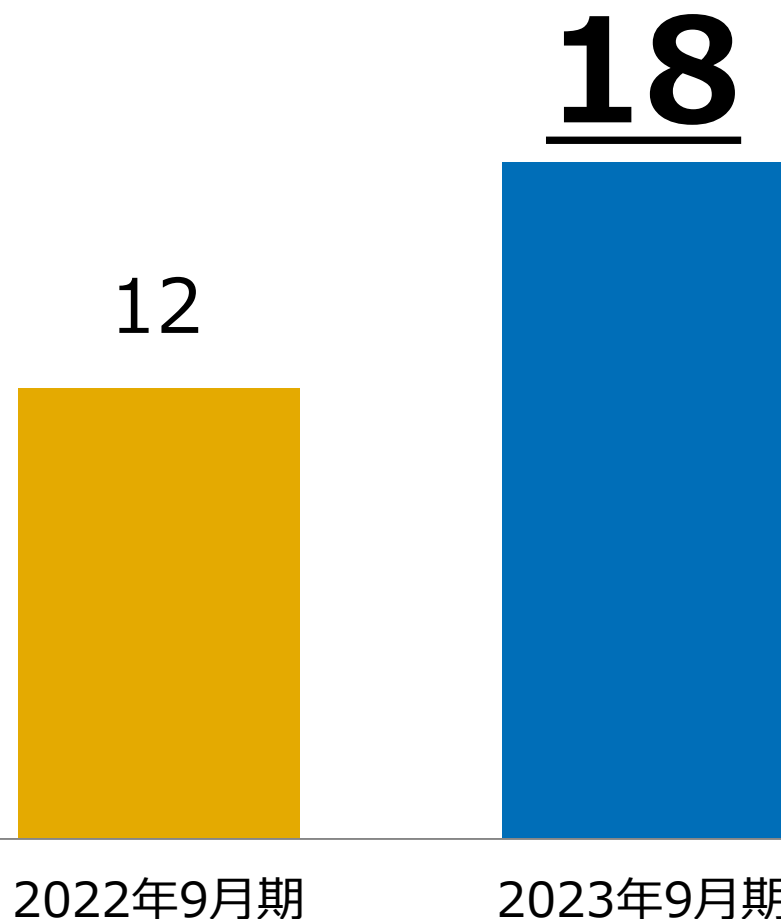
+ 12億円  
(+ 14.1%)

## 業績予想比

+ 33億円  
(+ 47.6%)

## グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の  
親会社株主に帰属する中間純利益の合計



## 前年同期比

+5億円  
(+45.4%)

### 証券事業

前年同期比 + 1.7億円

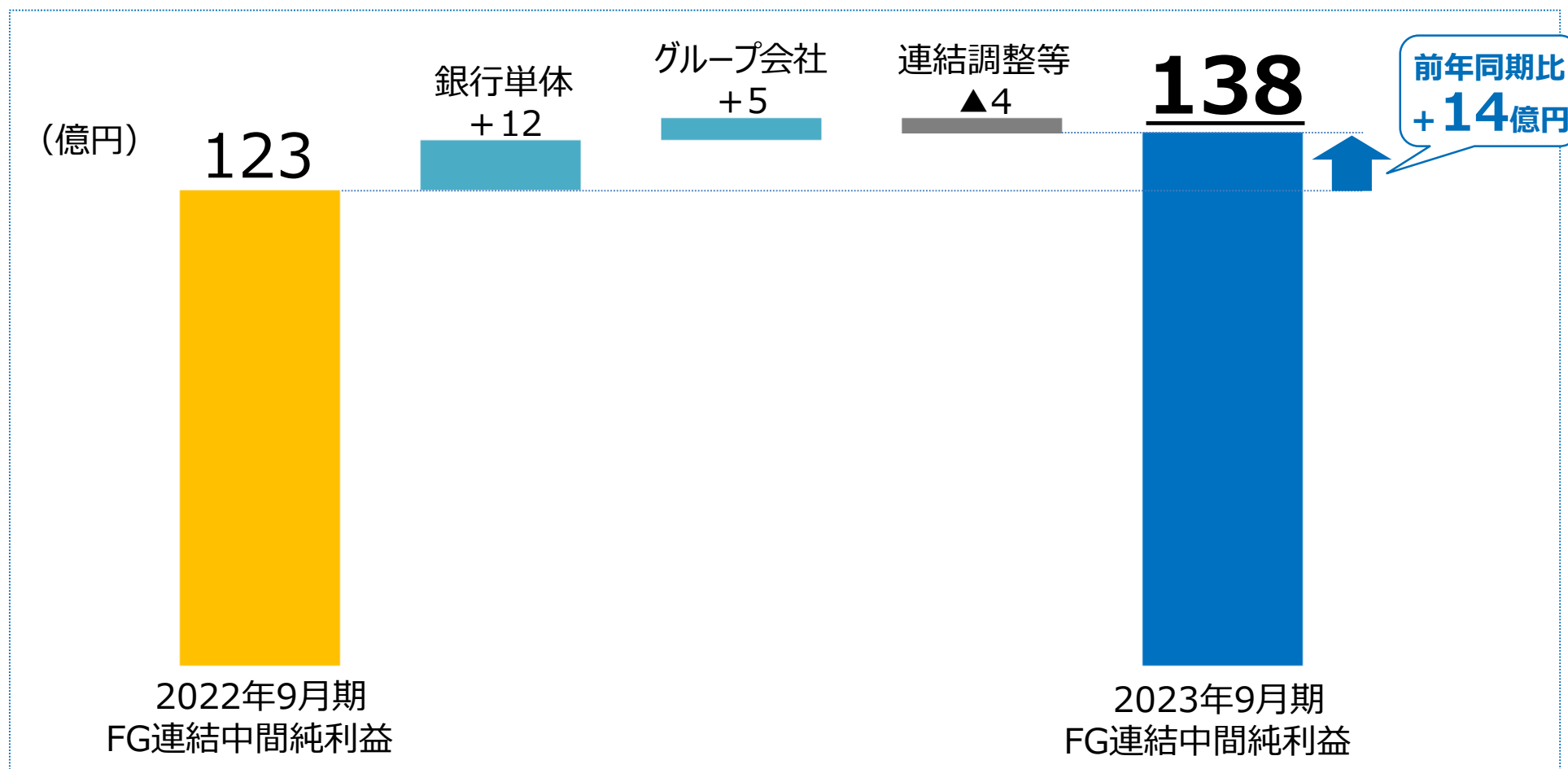
- マーケット動向を捉えたコンサルティングにより  
株式や投資信託販売などによる受入手数料  
が前年を上回る

### リース事業

前年同期比 + 3.3億円

- 銀行紹介案件が着実に増加しリース資産残  
高が増加したほか、信用コストが前年を下回る

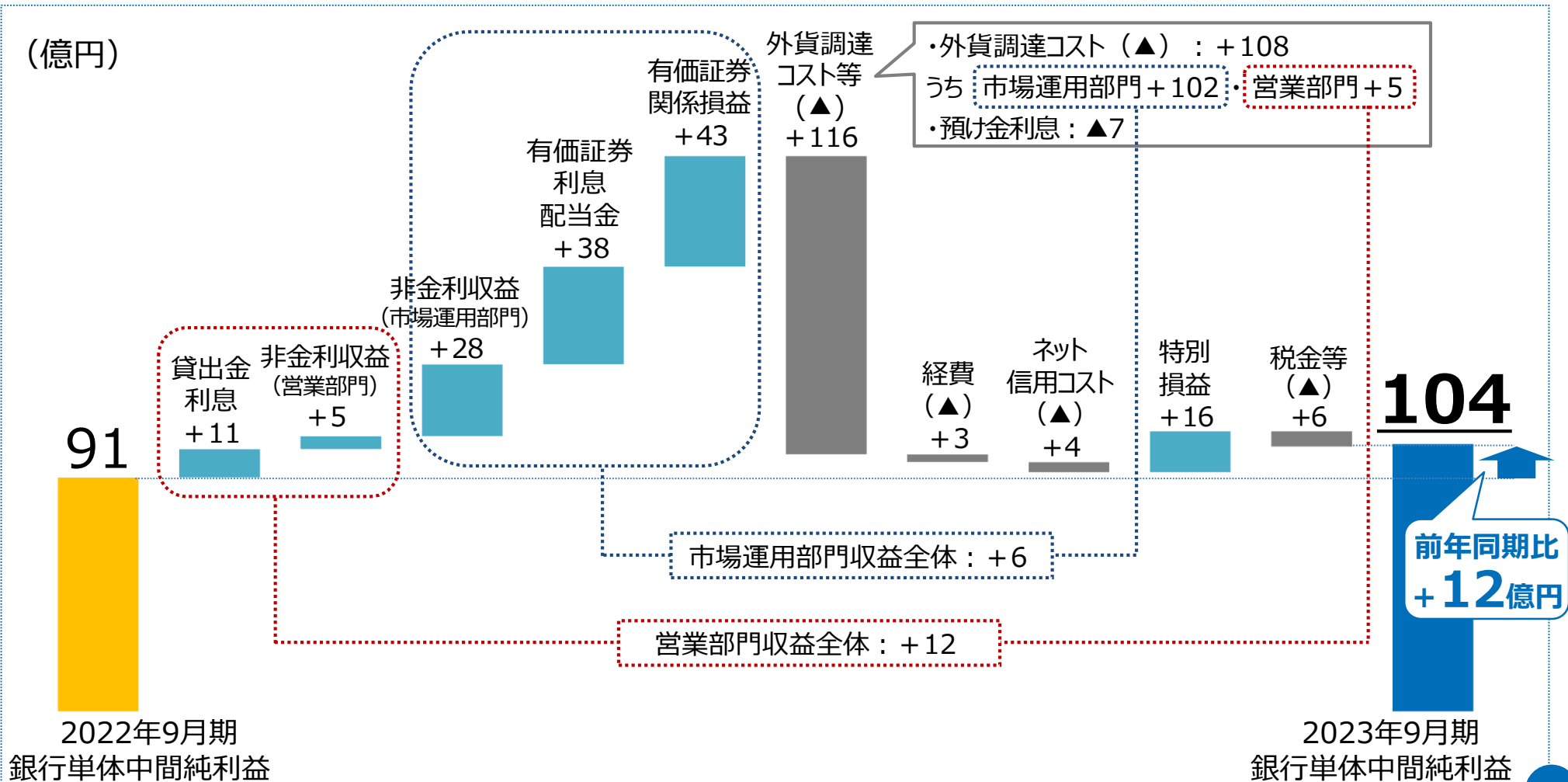
## 銀行単体、グループ会社部門のいずれも増益となり FG連結中間純利益は増益

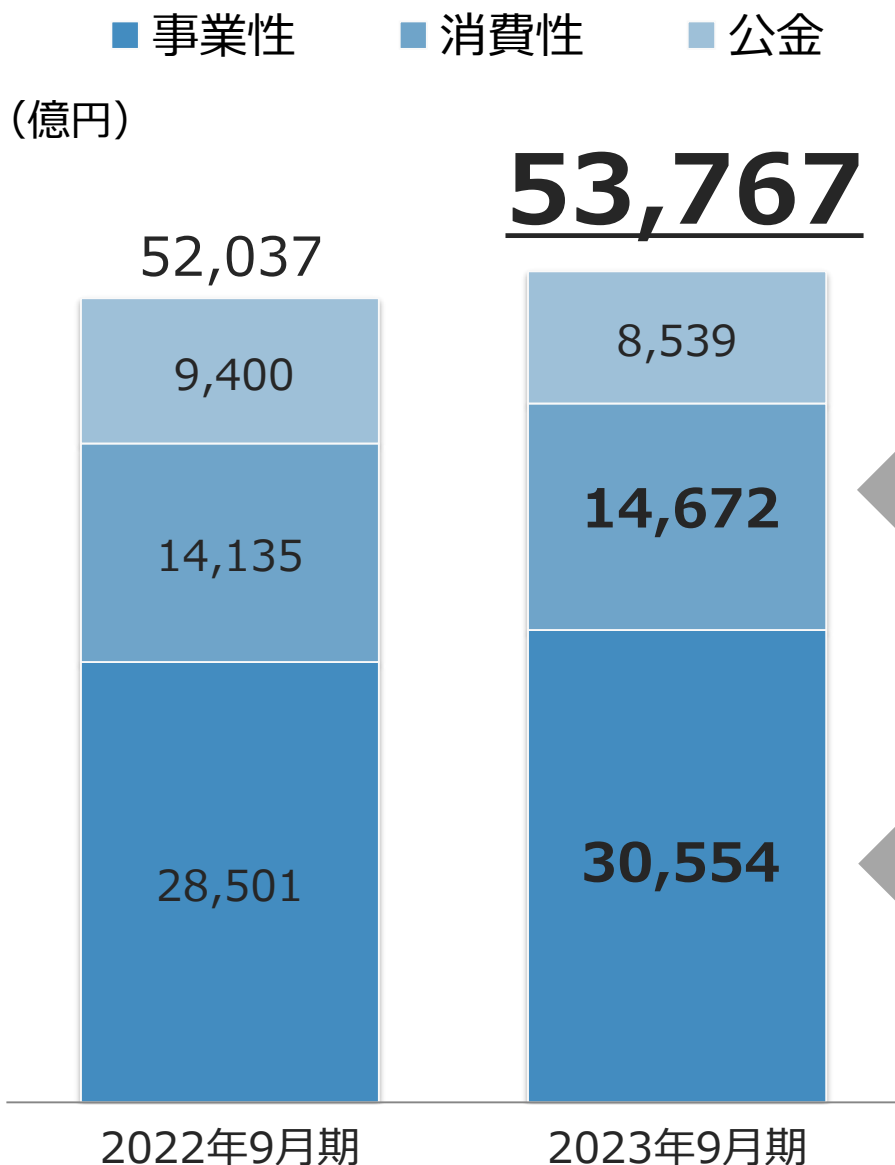




# 貸出金利息や非金利収益の増強などにより 銀行単体の中間純利益は増益

(億円)





前年同期比

+1,730億円  
(+3.3%)

## 消費性

前年同期比+537億円 (+3.8%)

- 非対面チャネルの活用などにより住宅ローン・無担保ローンともに増加

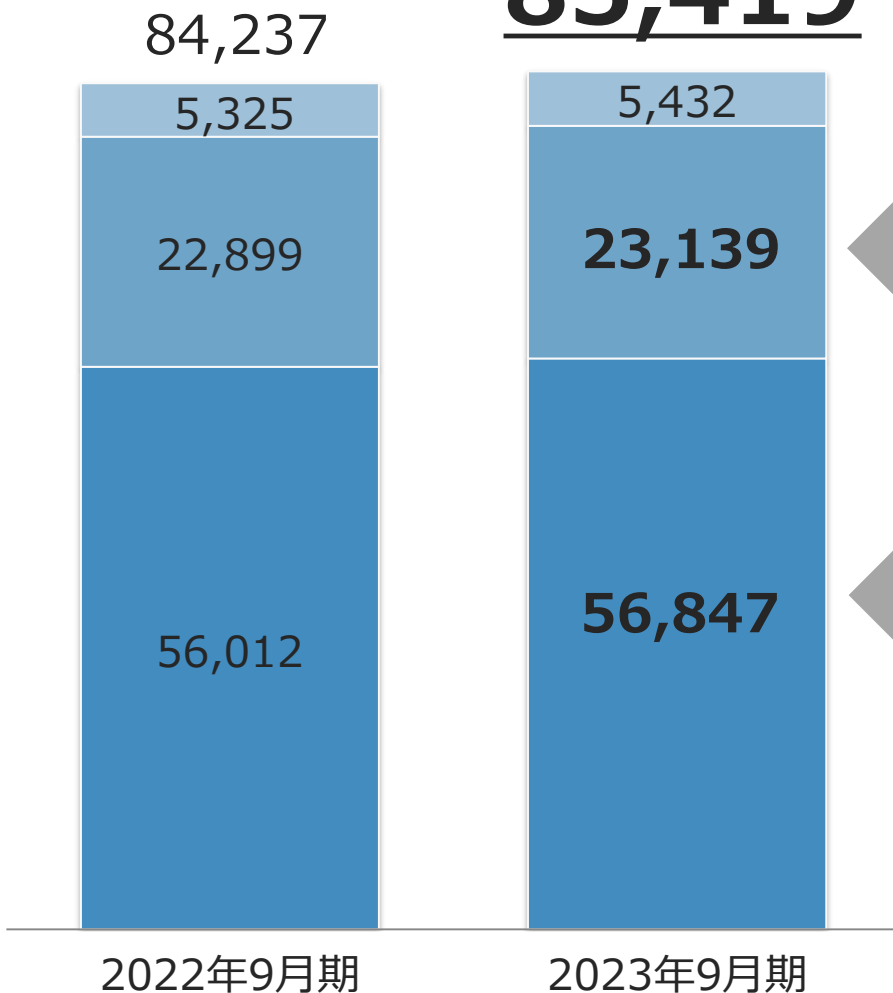
## 事業性

前年同期比+2,053億円 (+7.2%)

- 県内は実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）の繰り上げ返済に加え、先行き不透明感や資材高騰等を受けた設備投資の先送りなどを要因に減少
- 県外は資金需要のある大企業向けなどが増加

■ 個人 ■ 法人 ■ その他

(億円)



前年同期比

+1,181億円  
(+1.4%)

法人

前年同期比 + 240億円 (+ 1.0%)

個人 (個人事業主を含む)

前年同期比 + 834億円 (+ 1.4%)

－ 譲渡性預金を含めた預金等残高は  
法人・個人ともに順調に増加

# 銀行・営業部門 非金利収益分野

役務取引等利益及び国債等債券損益を除くその他業務利益等の合計額  
(除く市場運用部門収益・外貨調達コスト)

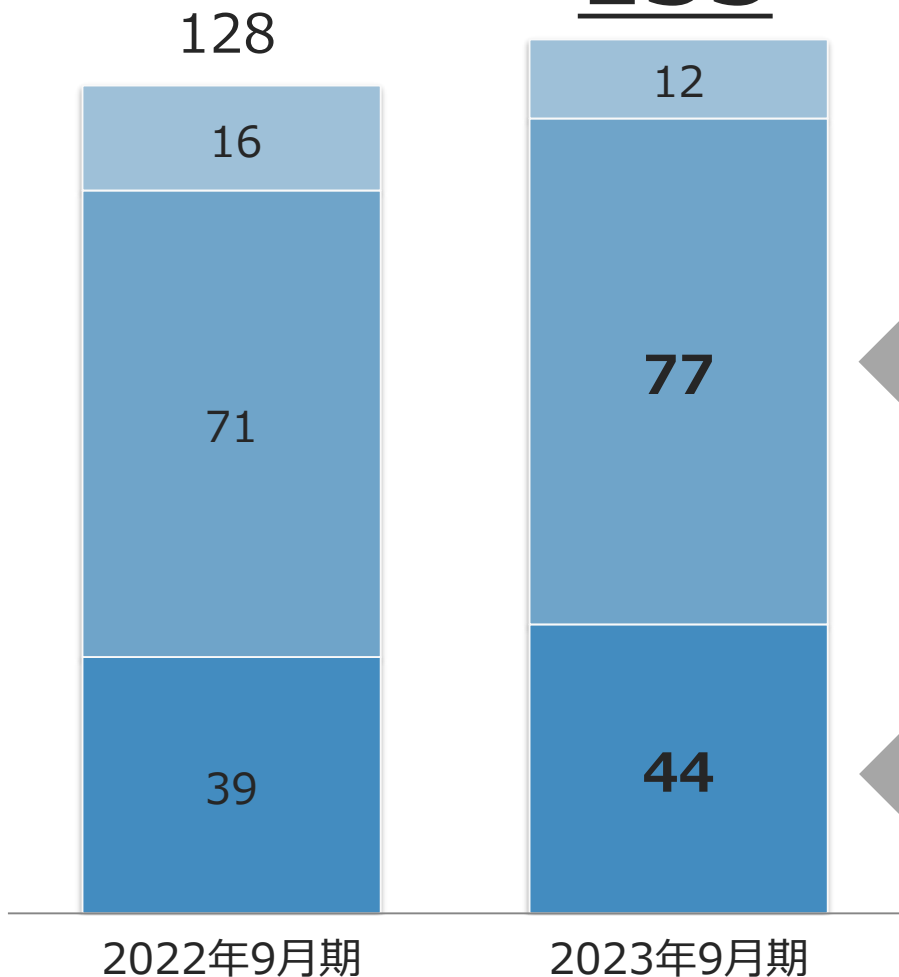
■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)

**133**

**前年同期比**

**+5億円  
(+4.3%)**



金融ソリューション収益

前年同期比+5億円 (+7.3%)

- お客さま向けの為替デリバティブ取引や事業承継・M&Aが増加

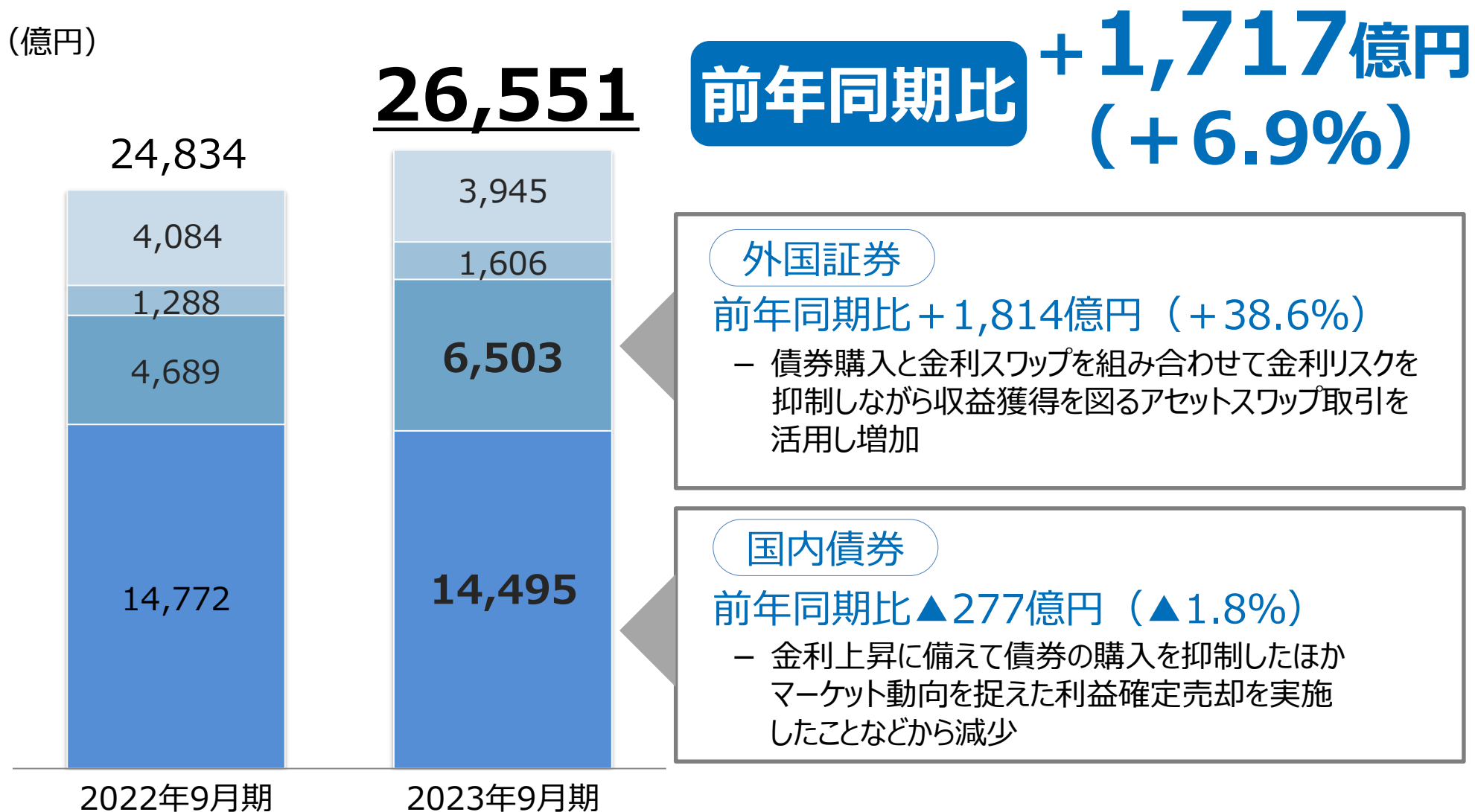
資産運用アドバイス収益

前年同期比+4億円 (+11.6%)

- 保険や投資信託のほか、遺言信託等の相続業務が増加

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)

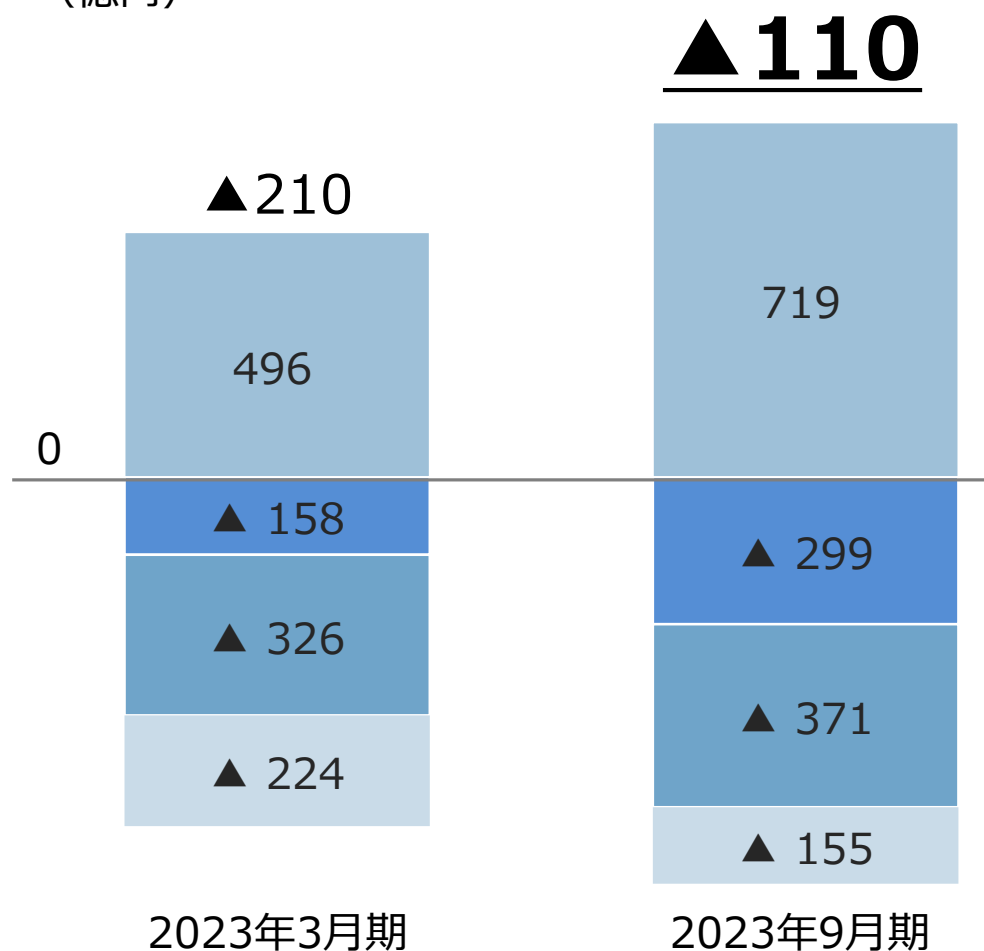


# 銀行・市場運用部門 有価証券評価損益

国内債券及び外国証券については  
金利スワップによる繰延ヘッジ考慮後の評価損益

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



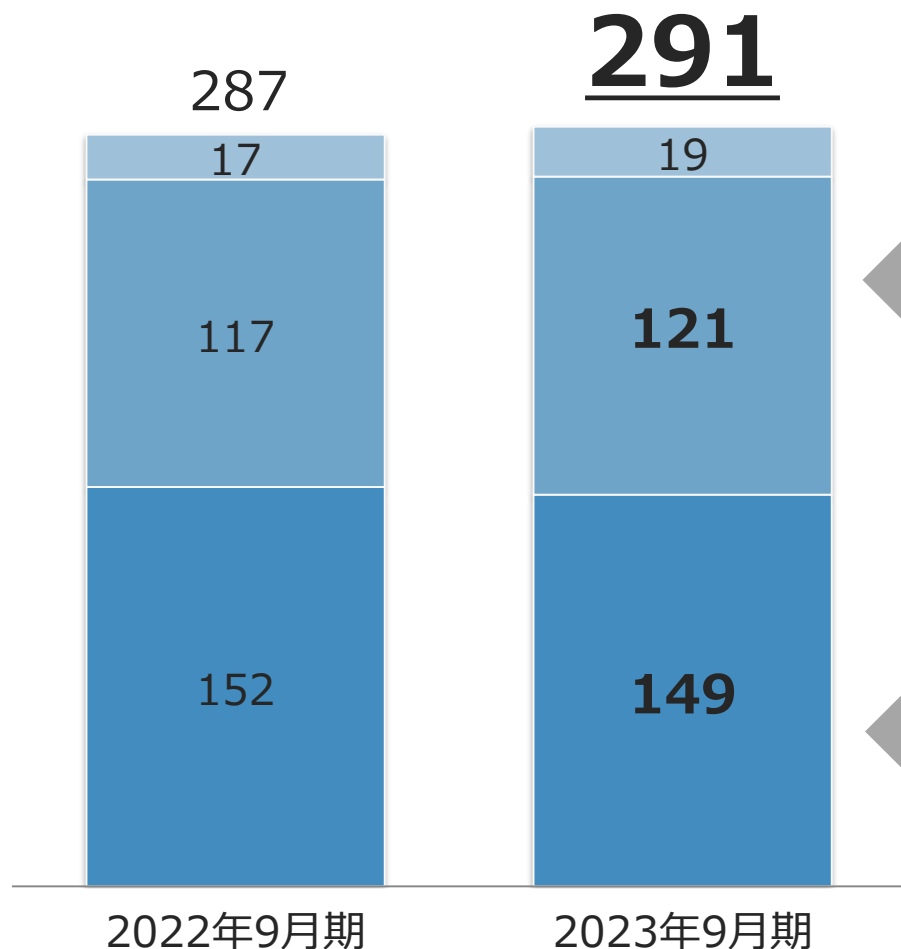
## 有価証券評価損益

### 2023年3月期比+99億円

- 国内金利の上昇により、国内債券の評価損益が悪化したものの、国内株価の上昇により、株式の評価損益が大幅に改善したことから、有価証券評価損益は改善
- 国内債券は残存14年超の債券全て金利スワップにてヘッジ済
- 外国証券は残高6,503億円のうち3,142億円がアセットスワップ取引、1,317億円が現時点でも利ザヤが取れているジニーメイMBS

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)



前年同期比

+3億円  
(+1.2%)

物件費

前年同期比 +4億円 (+3.9%)

- 事業者向け法人ポータルサイトや、新紙幣、セキュリティ強化などへの対応により増加
- 厳格なコスト管理を進める中においてもコンサルティング機能の強化やお客さまの利便性向上に資する投資は積極的に実施

人件費

前年同期比 ▲3億円 (▲2.3%)

- 店舗統合や業務改革による業務量減少に伴う人員数の適正化などにより減少  
(定年退職、採用の適正化等による自然減)
- コスト削減を進める中においても、人材育成への投資は毎年増加

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト

(%)

2.29

2.23

不良債権比率

前年同期比▲0.06pt

(億円)

17

21

ネット信用コスト

前年同期比+4億円

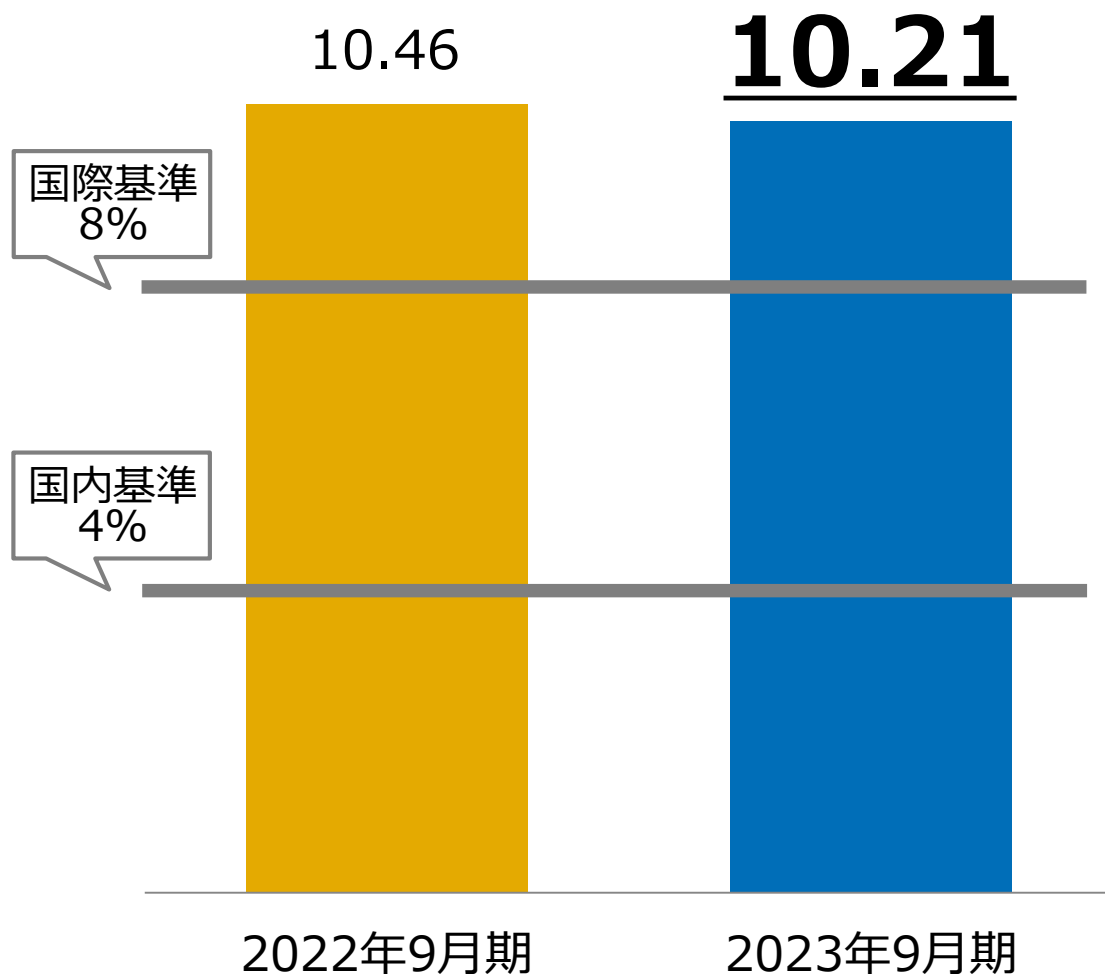
2022年9月期

2023年9月期

- － 県外大口先のランクダウンが発生したことなどからネット信用コストは増加  
(ただし計画対比では2億円下回る)
- － 物価高や円安などによる影響を注視し、営業部門と審査部門が連携したお取引先の経営改善・事業再生などのご支援に引き続き注力する



## FG連結 (%)



## 前年同期比

▲0.25pt

- FG連結での自己資本比率は国内基準である4%、国際基準である8%を上回る十分な水準を確保

## 単年度の経営統合によるシナジー効果は 当初計画（2018年10月策定）を上回るスピードで進捗中

**シナジー効果**  
(経営統合前の2018年3月期との比較)

**2023年9月期（単年度）**

**実績**

**+39億円**  
(計画比 +9億円)

内訳 (単位：億円)		実績	計画比
		+39	+9
	トップラインシナジー	+19	△1
	コストシナジー	+33	+2
	マイナスシナジー	▲13	+8

### <各シナジー効果の内容>

**トップラインシナジー**

- 貸出・金融ソリューション
- 資産運用アドバイス
- 手数料分野 等

**コストシナジー**

- 人件費の減少
- システム事務コストの減少
- 委託費の減少 等

**マイナスシナジー**

- 経営統合関連費用

# 経営統合によるシナジー（累計）

## 経営統合前の2018/3期との比較

FG  
設立後  
3年間

第一次中期経営計画  
2018年10月～2021年3月

銀行  
合併後  
5年間

第二次中期経営計画  
2021年4月～2024年3月

～2026年3月

銀行合併まではマイナスシナジーが先行

銀行合併後はプラスシナジーを発揮

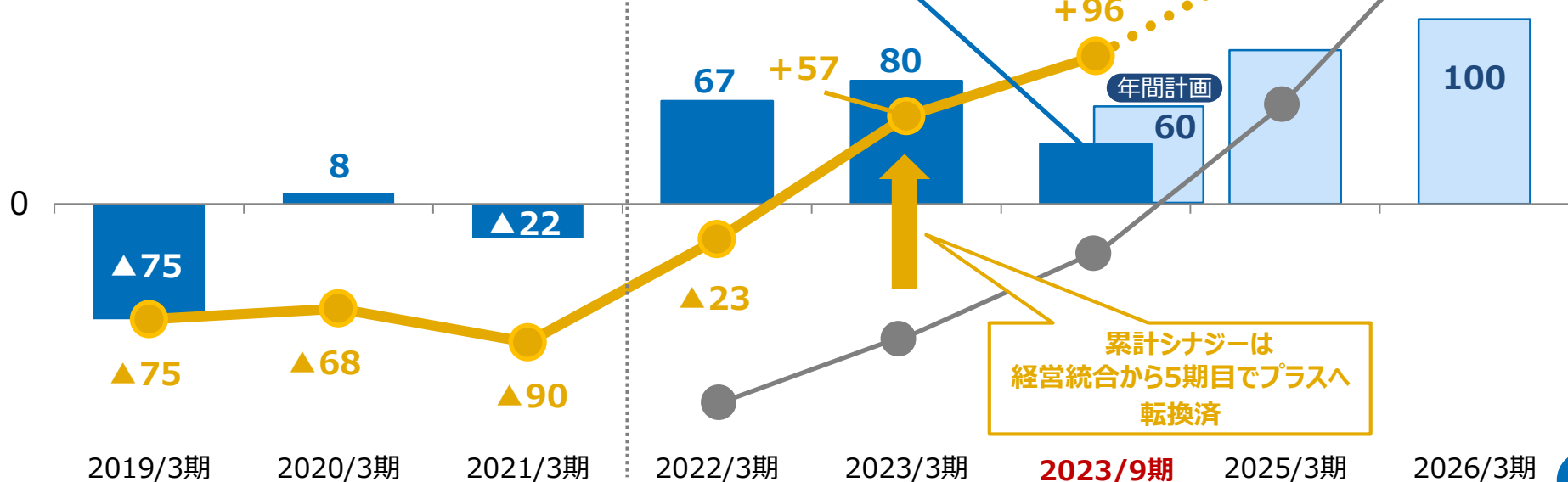
220億円+ $\alpha$ を見込む

青色の棒グラフ（水色は当初計画）  
単年度のシナジー効果

オレンジの折れ線グラフ（2023/9期以降の破線は見込み値）  
累計のシナジー効果

グレーの折れ線グラフ  
累計のシナジー効果の当初計画

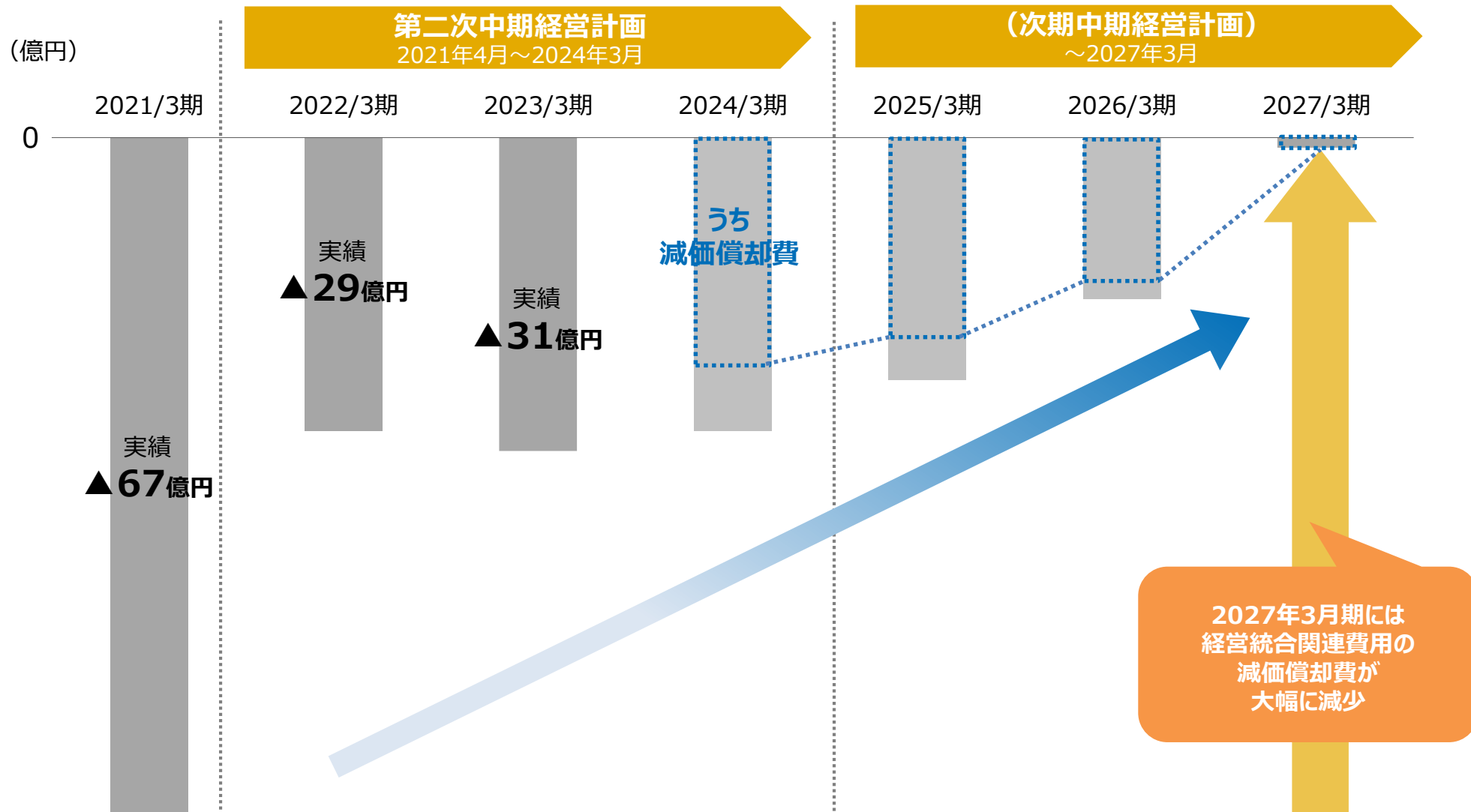
シナジー効果（単位：億円）



累計シナジーは  
経営統合から5期目でプラスへ  
転換済

# 経営統合関連費用の今後の見込み

## 【単年度】経営統合関連費用（マイナスシナジー）



中間期は当初業績予想を上回り、**FG連結純利益の進捗率は68%**と**順調に進捗**

但し、地政学的リスクの更なる高まりをはじめ、世界経済情勢の不確実性が一層高まっているほか、インフレ抑制に向けた欧米での金融引き締めなど、今後の国内経済および金融市場動向の先行きが不透明であることから、通期の業績予想値は、当初公表値を据置き

FG連結 (億円)	2024年3月期 業績予想	2023年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
経常利益	275	176	64.3%
当期（中間）純利益 <sup>※</sup>	201	138	68.7%

※ 親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

銀行単体 (億円)	2024年3月期 業績予想	2023年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
コア業務純益	278	169	61.0%
経常利益	224	149	66.5%
当期（中間）純利益	154	104	68.0%

計画期間：2021/4～2024/3

# 第二次中期経営計画

3大シナジーズの発揮

第一次中期経営計画  
-シナジー効果を最大発揮するための土台構築-

第二次中期経営計画  
-合併の成果をあげる新たなステージへ-

持続的な成長に向けて

## 1 経営統合

→ 第四銀行と北越銀行の  
経営統合により誕生

2018年10月 2021年1月  
全国に先駆けた同一県内の シェアNo.1・No.2の  
地銀による経営統合 シアNo.1・No.2の  
地銀による経営統合 システム事務統合



DAISHI HOKUETSU  
Financial Group  
第四北越フィナンシャルグループ



第四北越銀行  
DAISHI HOKUETSU BANK

140有余年にわたり築き上げてきた  
お客さまとの信頼関係



## 2 TSUBASAアライアンス

→ 地方銀行の広域連携の枠組み

2015年10月～



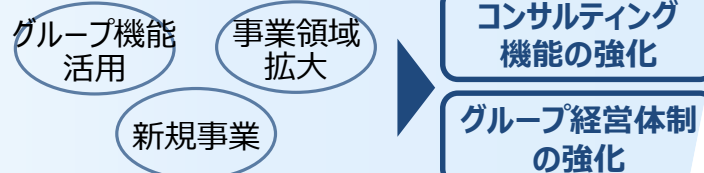
## 最重要テーマ

### シナジー効果の発揮

#### 1 合併シナジー



#### 2 グループシナジー



#### 3 TSUBASA連携シナジー



第四北越FG  
目指す姿

圧倒的に支持される  
金融・情報  
サービスグループ

金融・情報仲介機能の発揮  
による新たな価値の創造



経営の効率化

地域の発展への  
永続的な貢献

## グループ経営資源の再配分を通じて営業力を強化

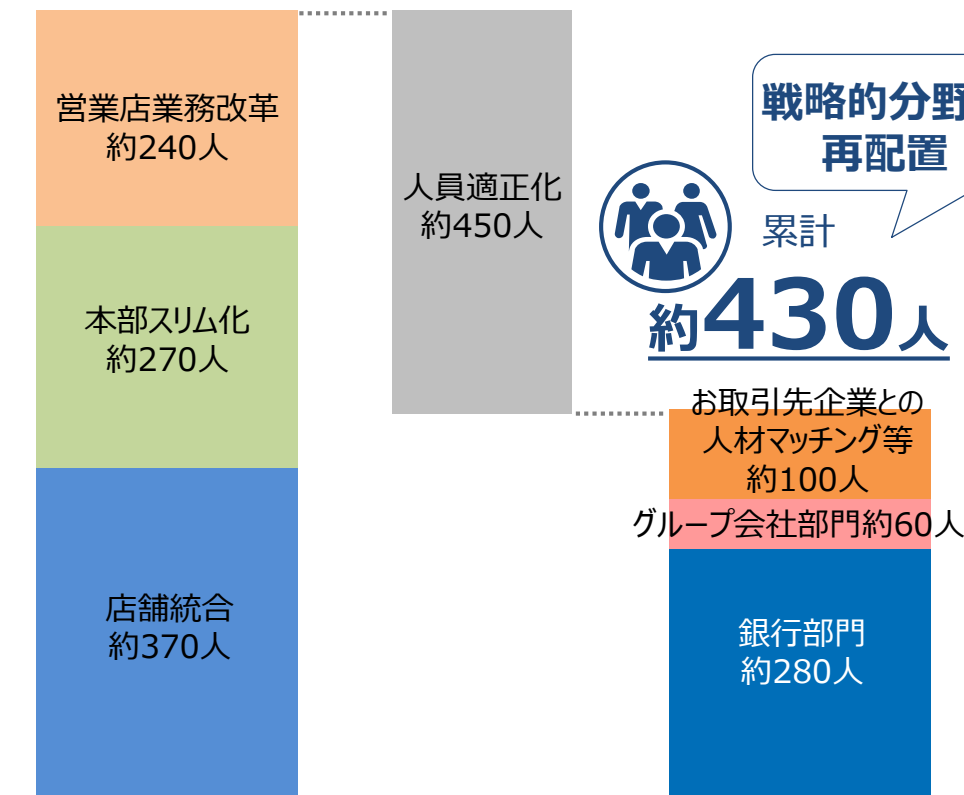
### 【第二次中期経営計画】人員創出・再配置 3カ年累計計画

累計

(2021年1月銀行合併時～2024年3月期の累計)



約**880**人



戦略的分野へ再配置



累計

約**430**人

創出人員数

2024/3期 計画\*

再配置人員数

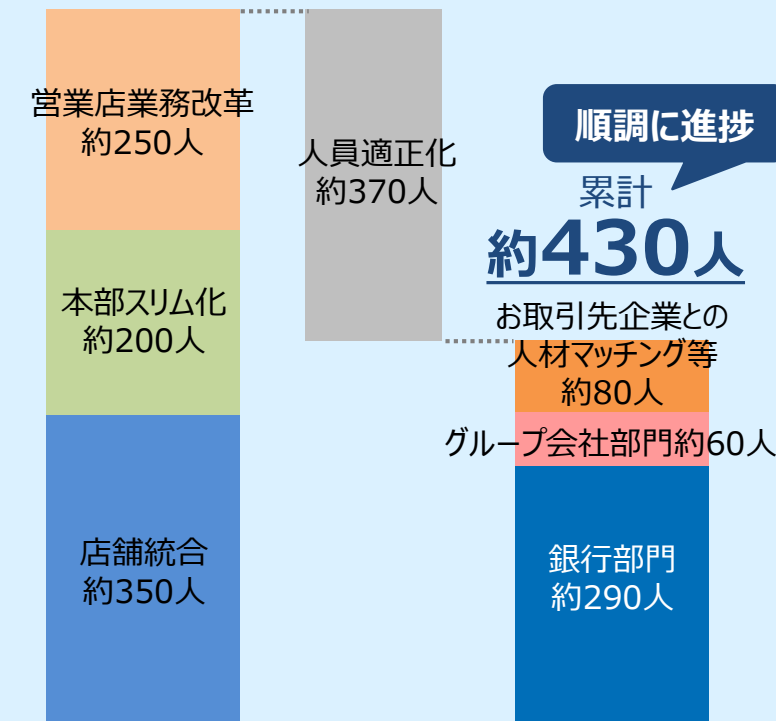
※ 端数により内訳と合計は一致しません。

### 2023年9月期 累計実績 ＜第二次中期経営計画 最終年度中間期＞

累計

約**800**人

進捗率90%



順調に進捗

累計

約**430**人

創出人員数

2023/9期\*

再配置人員数

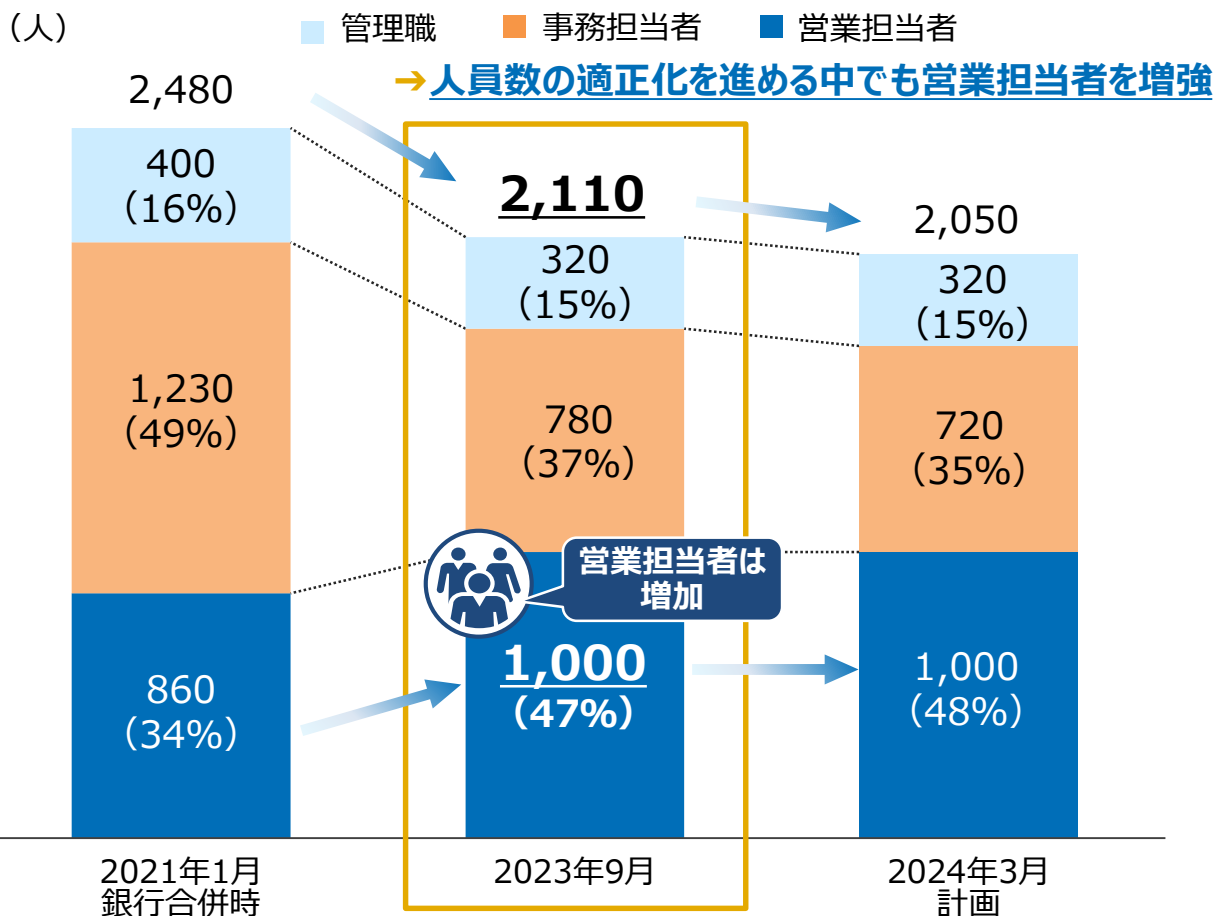


## コンサルティング機能の発揮に向けて営業部門へ人員をシフト

銀行部門 営業店の行員数の推移 (概数)<sup>※</sup> (本部所属の営業店駐在人員を含む)

第一次中期経営計画

第二次中期経営計画



※ 端数により内訳と合計は一致しません。

コンサルティング人材の配置を拡充

ブロック母店に  
営業店常駐本部専門人員を配置

総勢

約 **75** 人

- 上級コンサルタント (支店長級)
- 法人CM
- 個人CM

(合併前+約45人) CM: コンサルタントマネージャー

営業店毎に  
コンサルティング推進リーダーを配置

サステナビリティ  
推進担当者  
(2021年度新設)

New!

法人  
コンサルティング  
リーダー  
(2023年度新設)

総勢約 **110** 人

総勢約 **220** 人 営業店  
コンサルタント  
マネージャー  
(2021年度  
対象店拡充)

総勢約 **100** 人

## コンサルティング機能の発揮に向けた拠点の整備





### 営業拠点集約によるコンサルティング機能の強化

#### グループ営業拠点集約による連携の強化

New!

グループ会社の営業拠点の移転・集約を実施  
(7月・新潟県長岡市)

移転・集約したグループ各社

-  第四北越銀行  
➢ 長岡本店営業部 等
-  第四北越証券  
➢ 本社・本店営業部 等
-  第四北越リース  
➢ 長岡支店
-  北越リース  
➢ 本社



### 総合的コンサルティング営業の強化に向けた営業体制の強化

New!

銀行営業拠点におけるエリア制の拡大  
(10月・新潟県柏崎市、11月・新潟県上越市)



### 個人向け相談拠点の機能拡充

#### コンサルティングプラザの機能拡充

New!

新潟コンサルティングプラザの移転・統合を実施  
(9月・新潟県新潟市)

- 新潟・出来島の2つのコンサルティングプラザを移転・統合
- 資産運用ご相談ブース「マネープランラボ」を新設
- お客さまのライフイベントに応じた幅広いニーズへ対応



### 新形態店舗の導入

New!

キャッシュレスの省力化店舗の導入  
(11月・新潟県上越市)

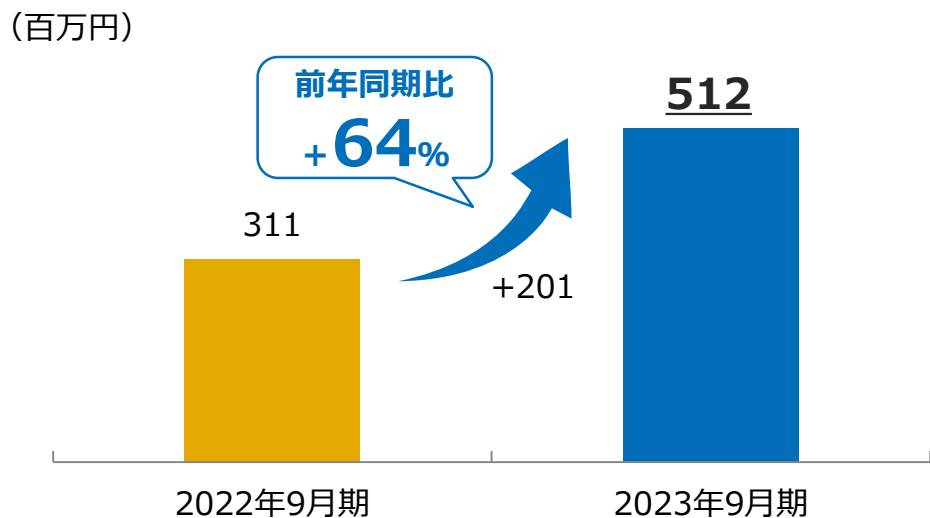


- 行政庁舎内への移転により行政手続きと金融サービスをワンストップでご提供
- WEB面談システム設置により資産運用等のご相談にも対応

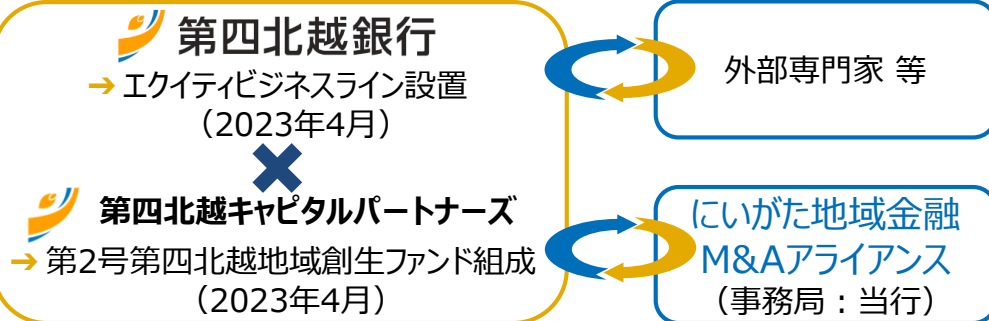
## コンサルティング機能の発揮に向けた取り組み①

### 営業・顧客基盤拡大によるコンサルティング機能の拡充

#### M&A・事業承継収益



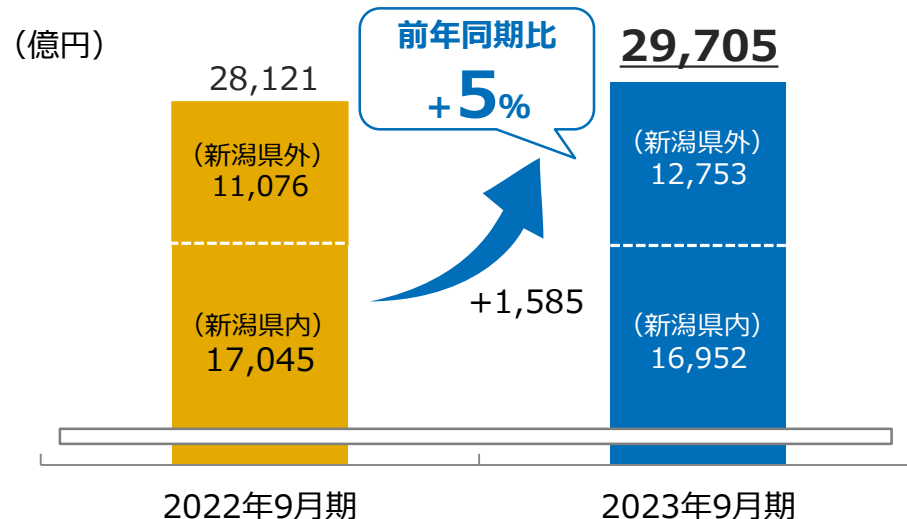
#### 経営統合により拡大したFGネットワークの活用



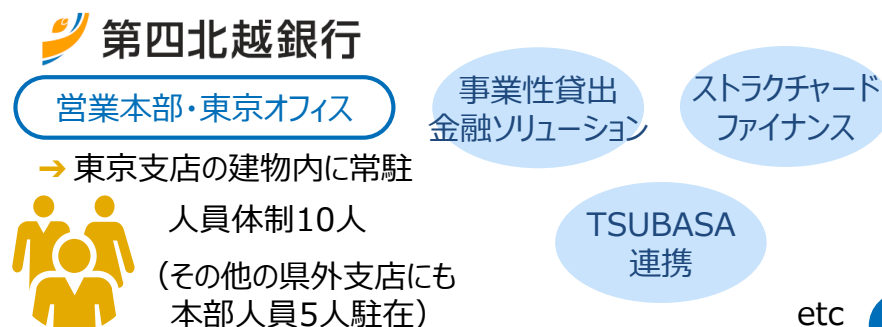
### 経営資源の再配分による活動領域の拡大

#### 事業性貸出平残

※部分直接償却前



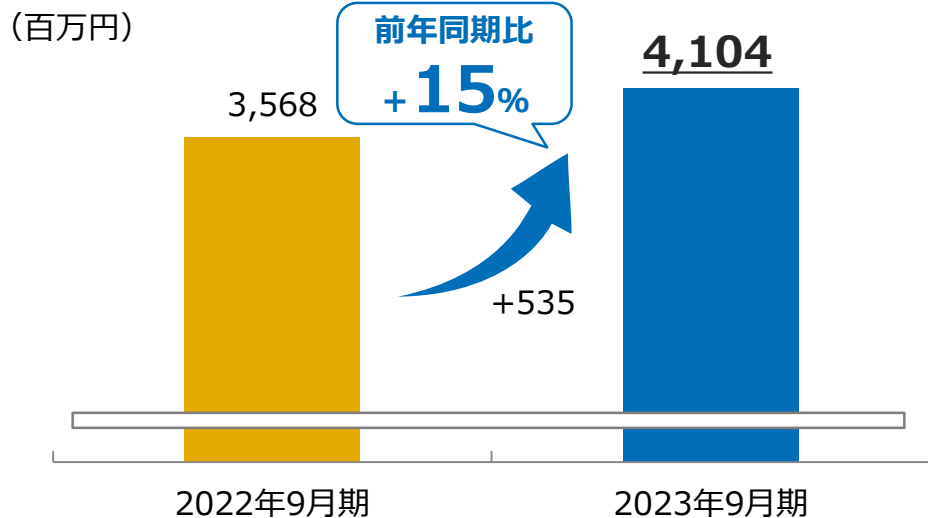
#### 本部機能の拡充による県内外連携の強化



## コンサルティング機能の発揮に向けた取り組み②

### 資産運用・資産承継コンサルティングの高度化

#### 投資信託・保険収益



#### 商品・サービスの拡充

New!

“厳選NISAプラン”取り扱い開始

(2023年7月)

新NISA制度に対応した商品の中から厳選した10銘柄をご提供



第四北越銀行 地方銀行

NISA口座数

(2023年6月末時点)

第8位

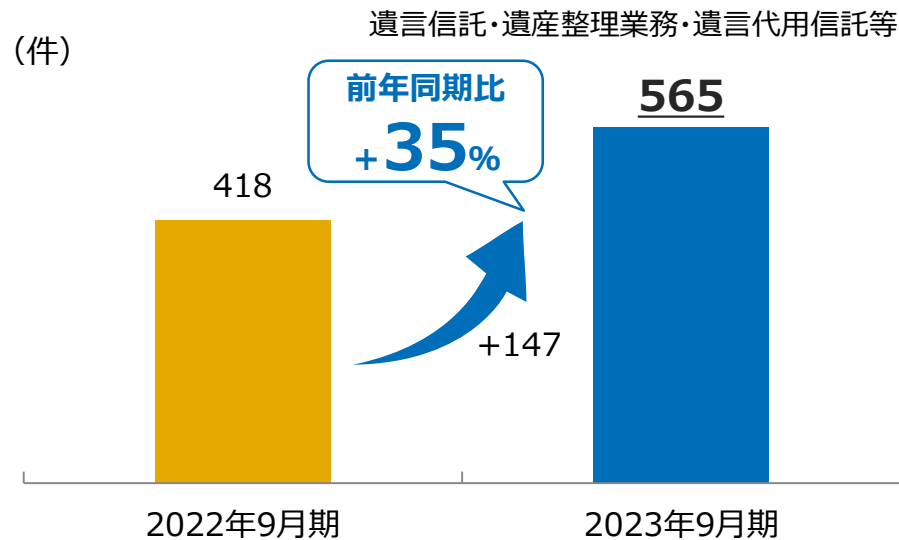
出典：ニッキン投信情報 (2023.9.4付)

New!

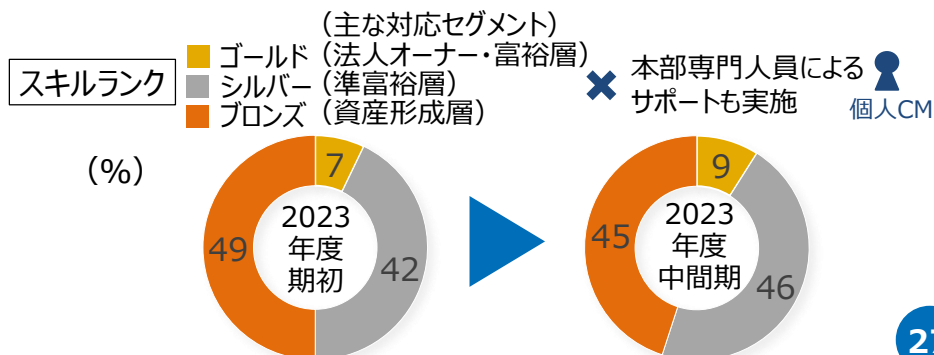
“個人型確定拠出年金 (iDeCo) のWeb申込”

取り扱い開始 (2023年11月)

#### 信託業務の取り扱い件数



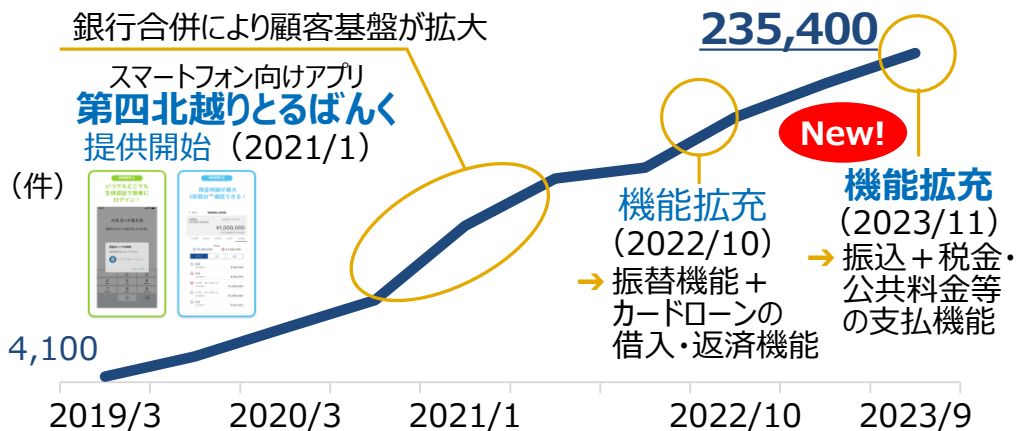
#### ノウハウの共有・スキル向上に向けた人財育成



# DXを通じたお客さまの利便性向上・コンサルティング機能の強化①

## サービス・機能拡充によるお客さまの利便性向上

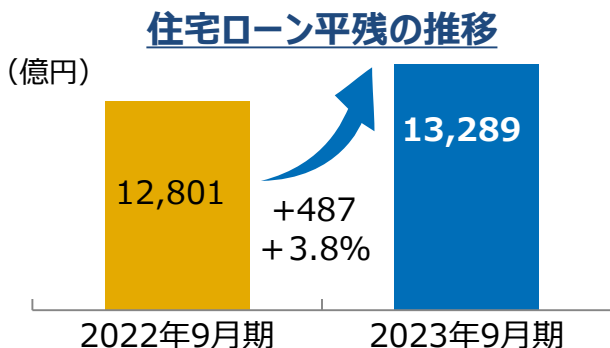
### だいしほくえつID数 (個人) の推移 (概数)



## 個人向けWebサービス「マイページ」の取り扱い開始 (2023年4月)

お客さまごとの専用Webページを構築

→ 住宅ローン正式申し込みのWeb受付が可能



## DXによる効率化・コンサルティング力の向上

### Web面談システム 利用件数

3,880件  
(2023年度上期)



リモート受付  
→  
(ご相談)  
個人ローン  
相続・信託業務



出張所を除く全店に導入済 (2023年3月)

### Web面談システム

### 営業融資支援システム「LiNK」

(2022年11月導入済)

→ 営業・融資一体営業の実現により訪問件数や新規実行額が増加

事業者向けポータルサイト

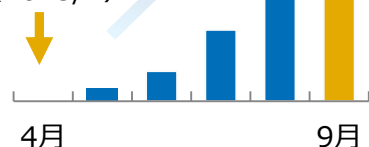
## 「CONNECT-BIZ (コネクトビズ)」の取り扱い開始 (2023年4月)



### 申込社数の推移 (累計)

741社

サービス開始 (2023/4)



### — 主な機能 —

- 安否確認
- 福利厚生
- 社内掲示板
- グループメッセージ

### + オプション機能 — 「Mikatanoシリーズ」

- 社内の業務効率化
- 資金管理
- インボイス管理



## DXを通じたお客さまの利便性向上・コンサルティング機能の強化②

### お取引先のDX推進に向けた取り組み

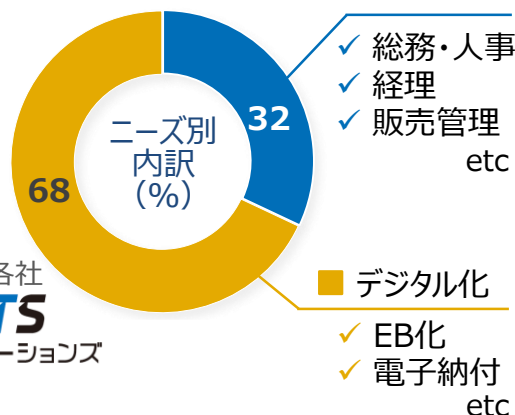
#### お客さまのDXを推進する「DX全店運動」の実施

#### お客さまのニーズ把握件数

(期間：2022/10～2023/9)

累計 **3,600** 件超

うち成約件数は  
累計 **2,200** 件



#### IT人財の育成強化・推進体制の強化

#### ITパスポート 資格保有者数

(累計)  
**1,126**人  
(2023年9月時点)

第二次中期経営計画目標  
累計 **1,000** 人超過

経済産業省「DX認定事業者」  
認定取得 (2022年11月)

第四北越  
フィナンシャルグループ

**DX認定**

---

経済産業省  
「スマートSMEサポーター」  
認定取得 (2023年9月)

第四北越銀行

**New!**

DH-ITS  
第四北越ITソリューションズ

Smart  
SME  
Supporter

#### 地域全体のDX推進に向けた取り組みの強化

#### 地域商社「ブリッジにいがた」

#### 新潟県DX推進プラットフォーム



経済産業省 (令和4年度補正)  
「地域DX促進環境整備事業」採択  
(サイバーセキュリティ対策拡充型) (2023年4月)

- サイバーセキュリティに対する脆弱性診断
- サイバーセキュリティ訓練の改善に向けた助言 etc

**New!** 新潟県 (令和5年度)  
「DX推進意識改革支援業務」受託  
(2023年7月)

- 金融機関・商工団体職員向けセミナー・研修 etc

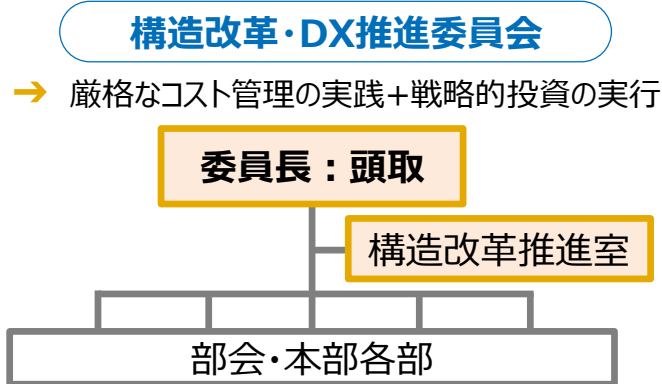
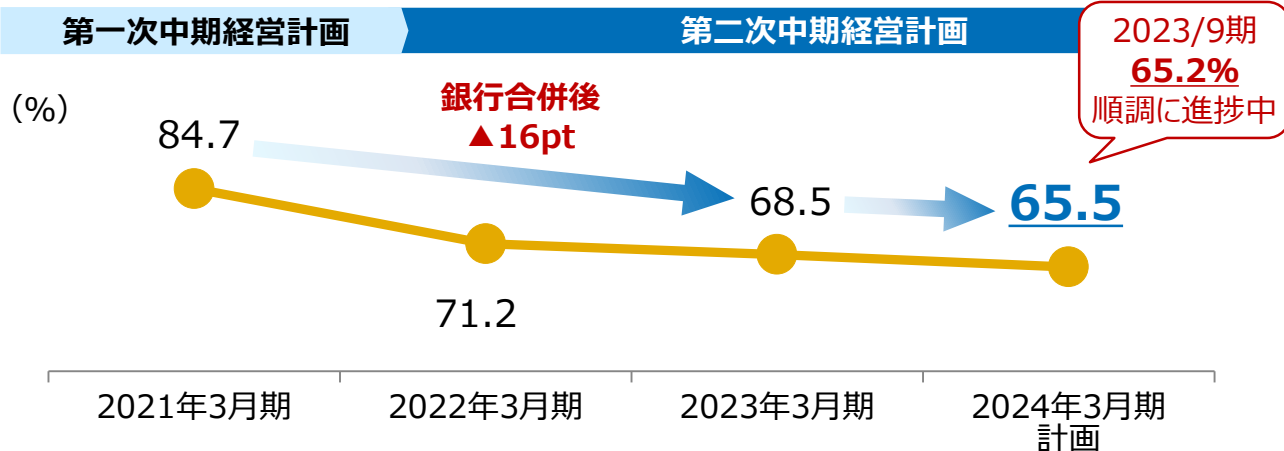
**New!** 新潟県内自治体との  
「パーチェシングサービス」契約締結  
(2023年9月)

- 公共料金や経費などの精算をカード決済に集約して業務効率化等を進めるサービス (カードは不発行)

カード事業の  
取り組み

経営資源の最適化を通じた経営体質の強化

連結OHR

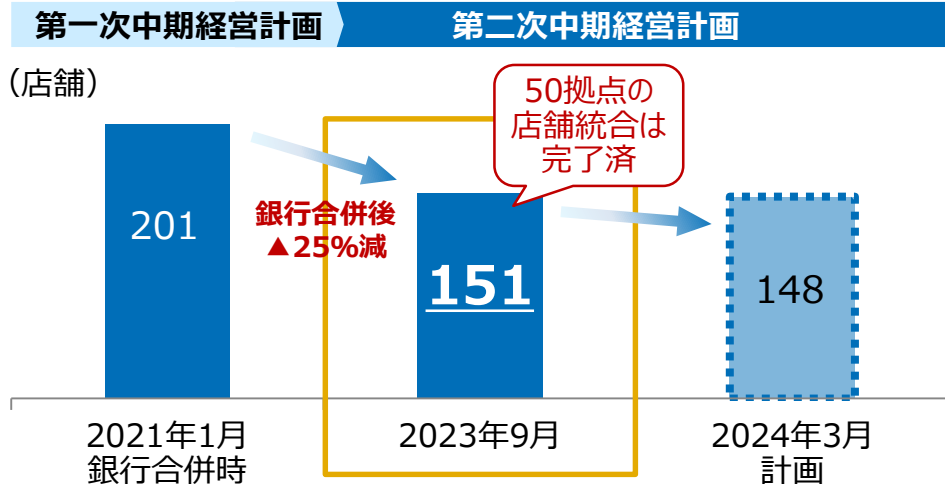


→ 厳格なコスト管理の実践+戦略的投資の実行

銀行部門

店舗統合の取り組み (店舗数の推移)

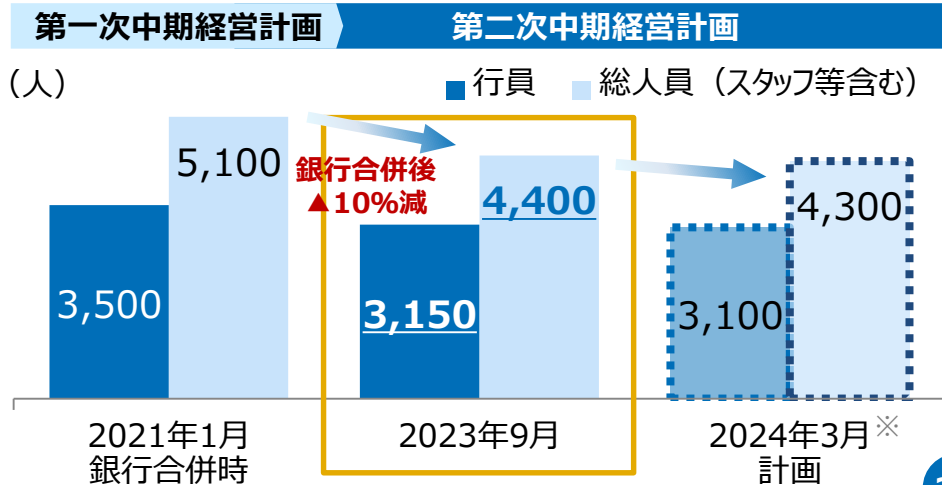
※ 実店舗数 (店舗内店舗・インターネット支店等を除く)



銀行部門

人員数最適化 (人員数の推移)

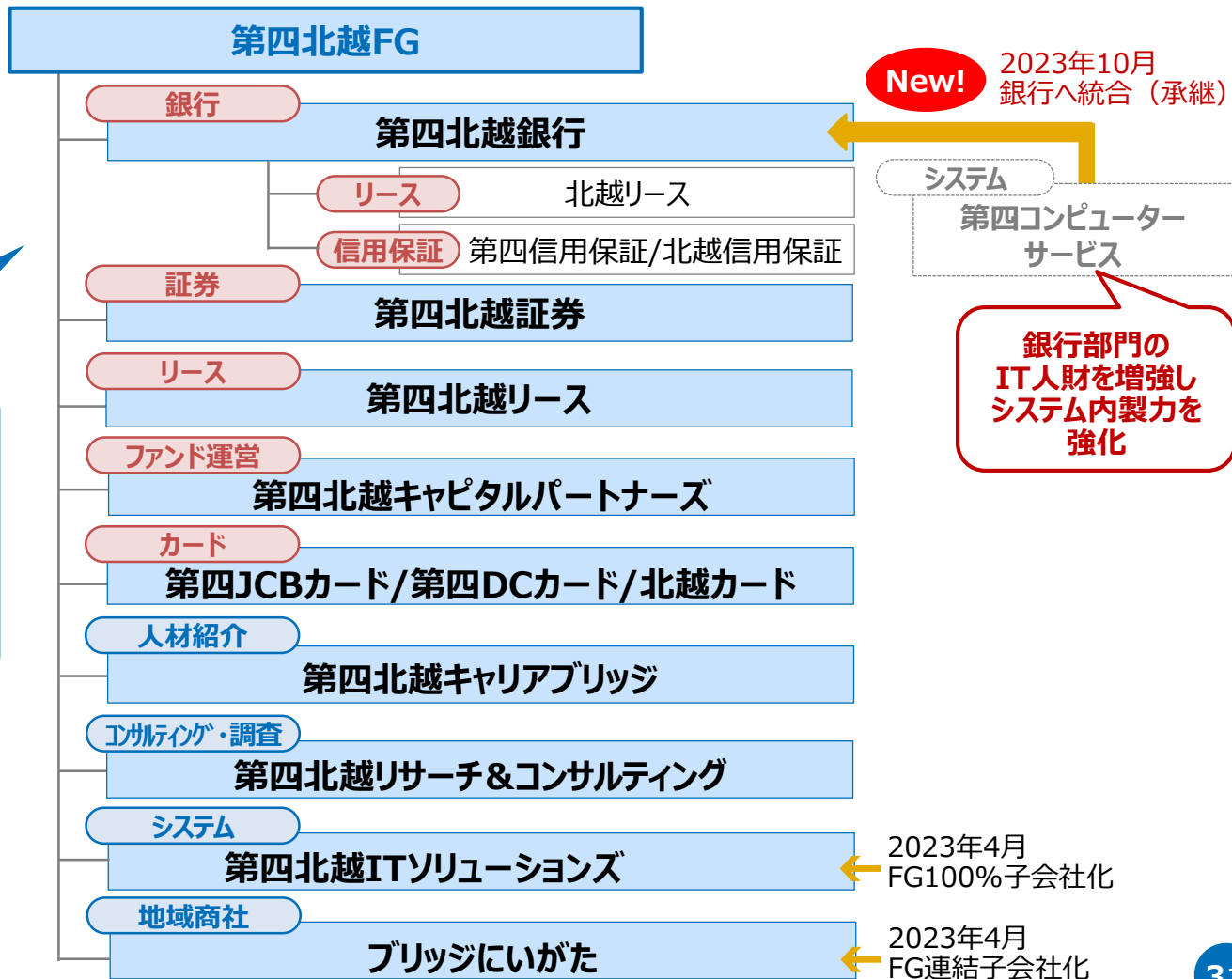
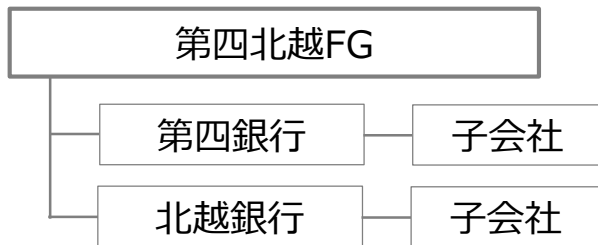
(概数)



## グループ再編・事業領域拡大に向けた取り組み

2018年10月 (FG設立時)

2023年10月～



New!

第二次中期経営計画における  
**グループ再編の完了**

(2023年10月)

FG、銀行子会社を含む連結子会社

**15社体制**

<事業分野>

金融分野

非金融分野

New! 2023年10月  
銀行へ統合 (承継)

システム  
第四コンピューター  
サービス

銀行部門の  
IT人財を増強し  
システム内製力を  
強化

2023年4月  
FG100%子会社化

2023年4月  
FG連結子会社化



## コンサルティング機能発揮に向けた連携強化

### グループ機能のフル活用

#### “複線型”連携の強化

グループ会社  
同士が  
相互に連携

→ 銀行をハブとした連携  
→ グループ会社間連携

<人員再配置>



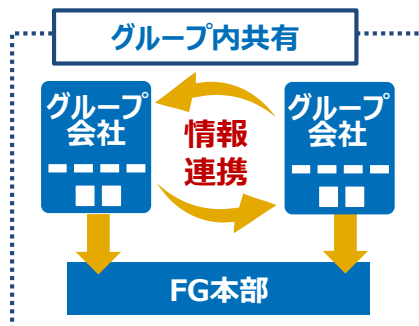
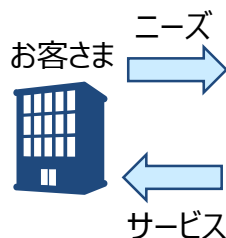
配置数  
約**60人**

「お客さまニーズ情報トスアップ制度」を開始

(2023年9月)

**New!**

グループ全体で  
お客さまニーズを  
トスアップする  
体制を整備



## グループ連携強化に向けた人財育成

### グループ連携人財

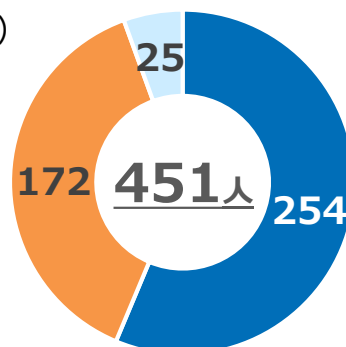
(2022年度～)

銀行・法人営業担当者

スキルレベル保有者数

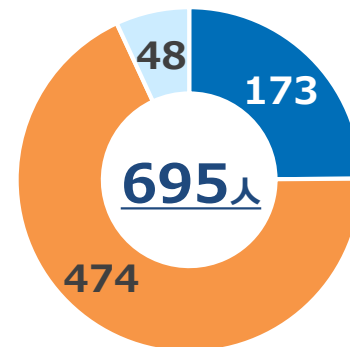
### グループ機能を活用し複合的提案を行える人財の育成・強化

(人)



2022年9月

資格保有者  
+244人



2023年9月

■ レベル1  
グループ各社の商品・サービスの理解が十分

■ レベル2  
お客さまの顕在化しているニーズに対してグループ機能を適切に紹介できる

■ レベル3  
お客さまの潜在的ニーズに対してグループ機能を適切に紹介できる

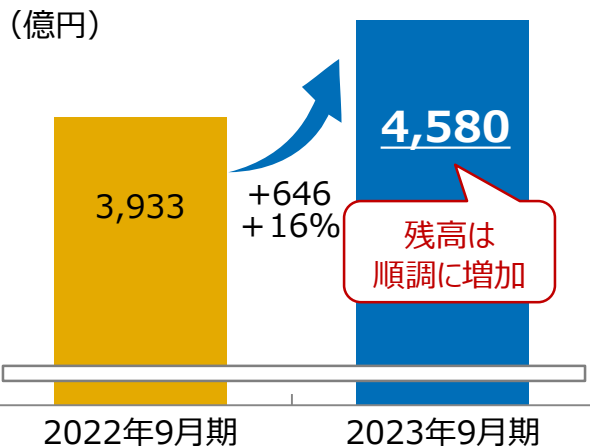
### スキルレベル向上施策

- 長期・短期トレーニー研修制度 (銀行→グループ会社へ)
- 各種研修会・動画研修・eラーニング etc

## グループシナジー発揮に向けた取り組み

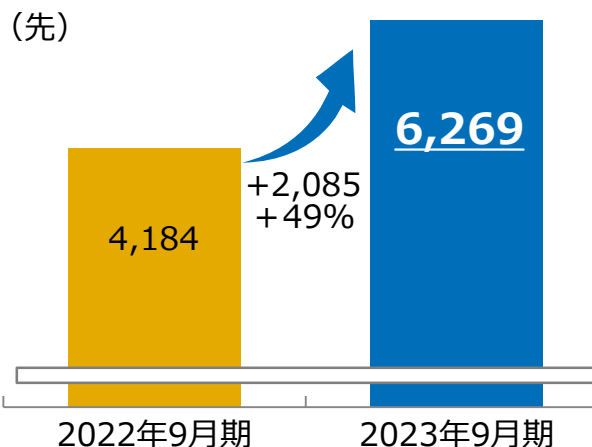
### 証券事業

#### 預かり資産残高



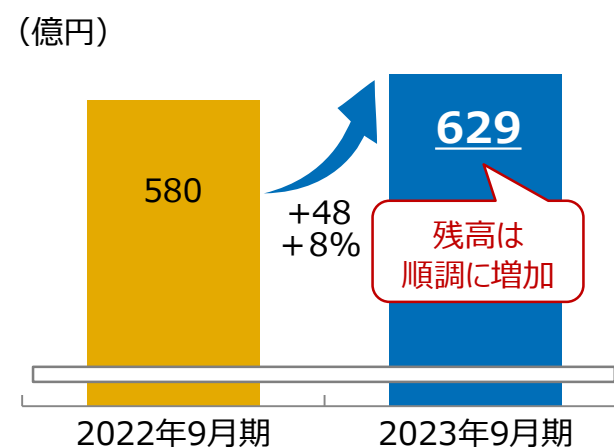
### 証券事業

#### 積立投信契約先数



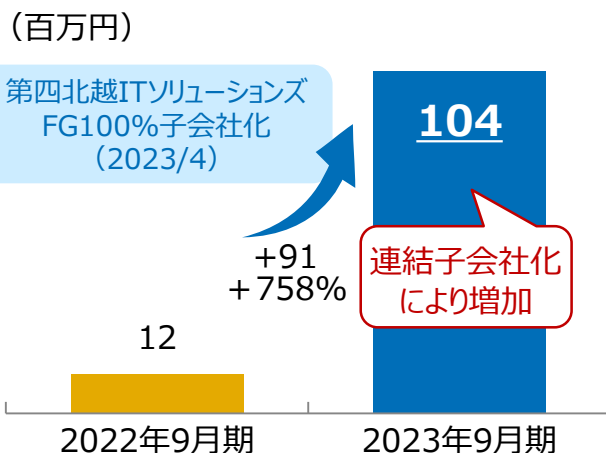
### リース事業

#### リース資産残高



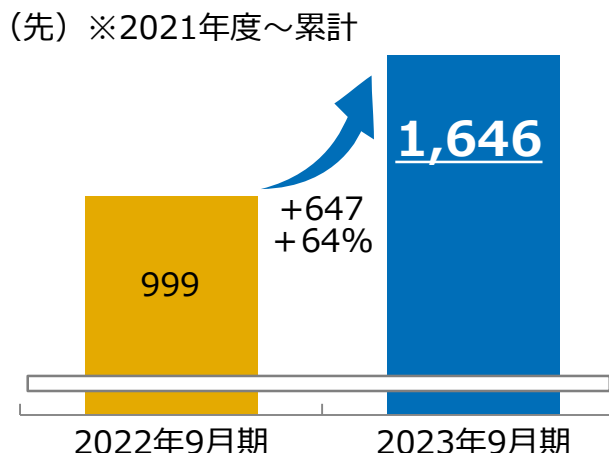
### システム事業

#### 親会社株主に帰属する中間純利益 システム部門利益



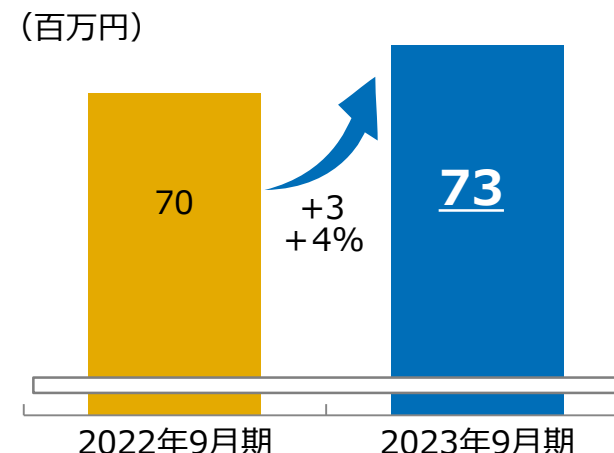
### カード事業

#### 加盟店獲得累計件数



### コンサルティング事業

#### 第四北越リサーチ&コンサルティングにおける コンサルティングフィー



## 地域商社

### ブリッジにいがた

(2019年：設立)

#### 販路開拓事業

アンテナショップ  
ブリッジにいがた



自社ECサイト  
オンラインショッピング



- 商品ご提供企業数累計**599社** (前年同期比+**67社**)
- アンテナショップの売上高は前年同期比+**8.2%** (2023年9月期)

#### トピックス

New!

新潟県「ベトナム向け県産品の販路開拓支援業務」  
受託 (令和5年度)

(2023年6月)

— 販路開拓セミナー開催、展示会、マッチング等

2年連続  
採択

#### 観光振興事業

- 多言語翻訳ツールの提供
- 各種団体に対する観光振興策の提案・共同実施 等

#### 生産性向上事業

 P29 (DX支援に記載)

## 人材紹介

### 第四北越キャリアブリッジ

(2019年：設立)

#### 人材マッチング事業

- 人材紹介業務
- 人材マッチングサポート
- 兼業・副業人材マッチングサポート

相談件数

累計**1,612**件

決定件数

累計**415**件

(期間：2019年10月～  
2023年9月)

#### 人材育成ソリューション事業

- 県内企業の人材育成に向けたセミナーを  
FGグループ企業と共催で開催

人財育成  
サポートプログラム  
参加者総数

**1,300**人超

2023年9月期

企業毎の課題に  
合わせた個別研修会  
開催数

**40**回超

2023年9月期



#### トピックス

New!

新潟県「輝く女性・次世代ゼネラルマネージャー  
育成事業」受託 (令和5年度)

(2023年8月)

— 女性活躍に積極的な企業の経営層・  
女性管理職向け研修の開催

2年連続  
採択

## 地方銀行広域連携の枠組み



地域とともに未来へはばたく

TSUBASA ALLIANCE

参加行数

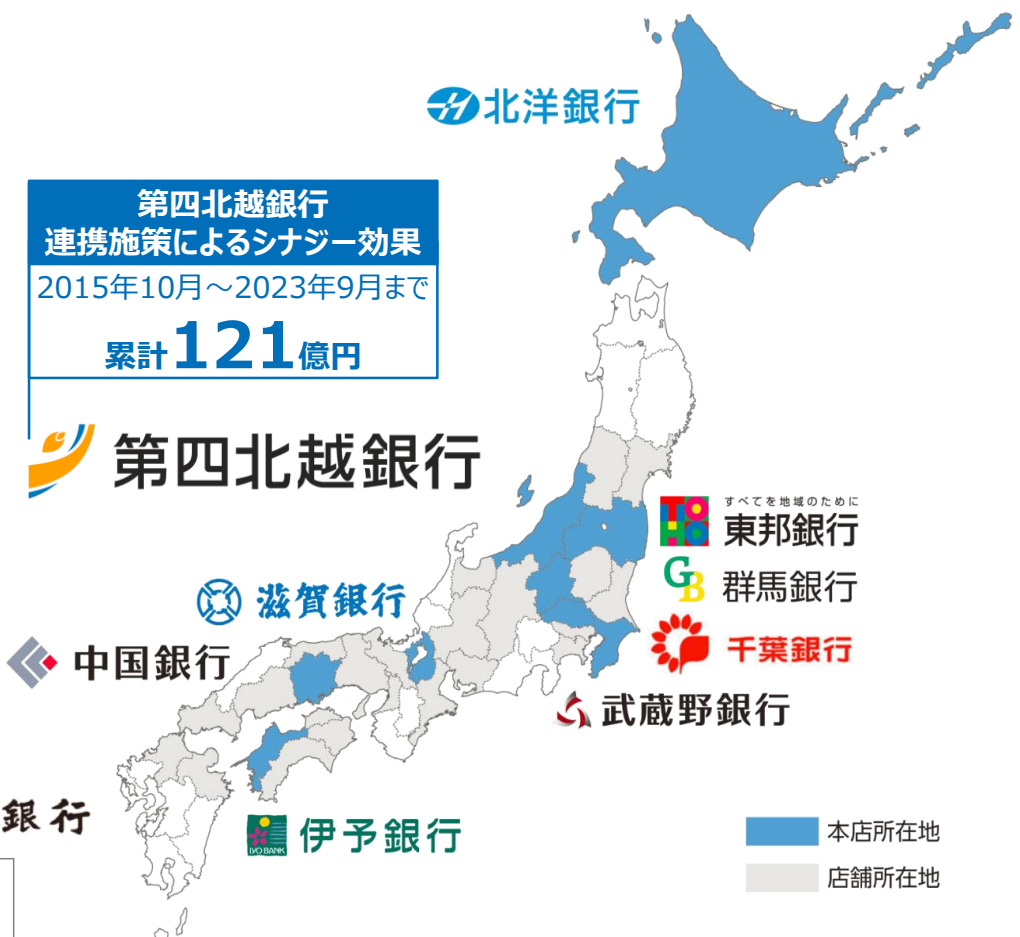
10行

(2023年9月時点)

参加行の  
総資産残高合計

96兆円超

(2023年9月期連結ベース)



地方銀行**最大**の広域アライアンスによる  
**規模のメリット**と**情報連携の優位性**の活用

- トップラインシナジー
- コストシナジー
- 情報連携

等

## 新たな事業領域の拡大

- 2015年** **TSUBASAアライアンス発足** (2015年10月)
  - 当行・千葉・中国の3行で発足
- 2016年**
  - T&Iイノベーションセンター設立
  - 相続関連業務提携
- 2017年**
  - 基幹系システム共同化
- 2018年**
  - 事務部門共同化合意 (当行・千葉)
  - TSUBASA FinTech共通基盤稼働
  - TSUBASA Smile導入
- 2019年**
  - SDGs宣言
  - M&A広域連携
- 2020年**
  - 為替デリバティブ分野業務提携 (当行・東邦)
  - TSUBASAアライアンス(株)設立
  - 同社内にアンチマネーローンダリングセンター開設
- 2021年**
  - TSUBASAアライアンス(株)に事業戦略部開設
  - 群馬・第四北越アライアンス発足 (2021年12月)
- 2022年**
  - (株)オンアド設立・事業開始 (当行・千葉・中国)
  - 「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」の制定
- 2023年**
  - TSUBASAアライアンス(株) **New!** ホームページ開設 (10月)

こちらから  
ご覧いただけます



### TSUBASA汎用ペーパーレスシステムの導入 (2023年9月)

➔ 窓口受付システム「TSUBASA Smile」受付後の処理のデジタル化、ペーパーレス化を実現



### 「TSUBASA-AMLセンター(株)」の設立 (2023年11月)

➔ マネーローンダリング及びテロ資金供与防止対策の共同運営に向けた合併会社を設立 (2024年度下期業務開始予定)



### 各行共通の重要テーマの共同実施

➔ サステナビリティ・リンク・ローンの共同組成等



## 営業エリアが隣接し合う地理的特性を活かした連携



GUNMA  
DAISHI HOKUETSU  
ALLIANCE

## 群馬・第四北越 アライアンス

### 主な連携分野

地域創生・  
観光振興

法人  
ソリューション

資産運用

人材育成

不動産  
有効活用

etc

### 連携効果 (シナジー効果)

両行合算・累計ベース (億円)

見込み  
122

アライアンスは  
2021/12に発足

15  
2020/12~  
2022/3期

57  
2023/3期

67  
2023/9期

5年間累計  
+100億円超

2027/3期

### 店舗の共同利用

New!

### 第四北越銀行店舗の群馬銀行店舗内への移転

第2弾

→ 当行池袋支店の  
群馬銀行ビル内への移転  
(2024年1月予定)

【第1弾】2023/3  
当行高崎支店の  
群馬銀行店舗内  
への移転を実施済



第四北越銀行



群馬銀行



移転



▲建物外観

当行は  
8階に移転

### 商品・サービスの共同企画

New!

### SDGs私募債「グリーン&フードサポート私募債2」 (2023年7月~2024年3月)

私募債発行企業様を  
資金面でサポート



発行企業様よりいただく手数料の  
一部を活用して新潟県・群馬県へ  
食品や金銭の寄付を実施  
→ SDGsの達成に貢献



計画期間：2021/4～2024/3

# 第二次中期経営計画

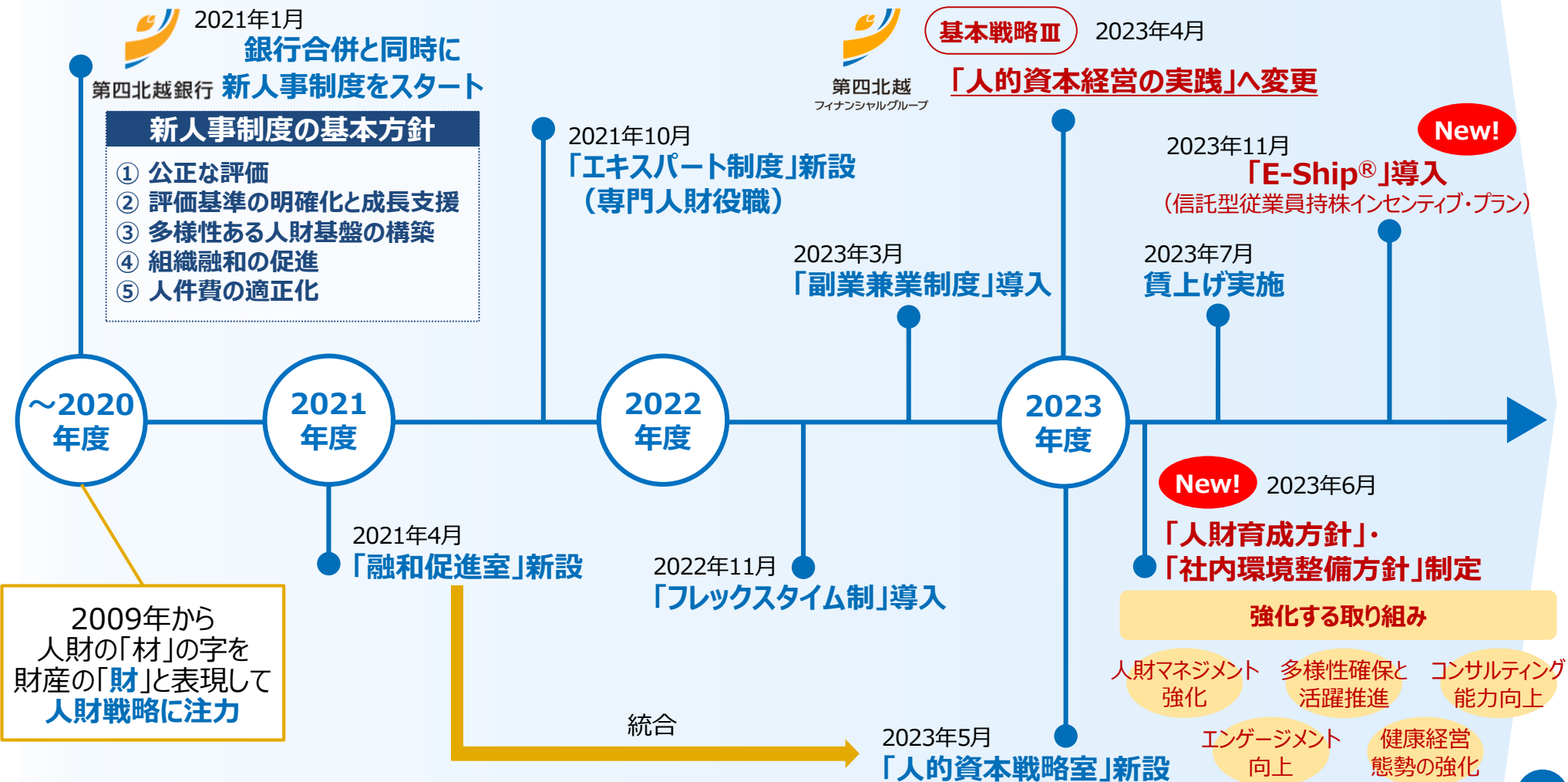
人的資本価値の向上



## 人的資本価値向上に向けた取り組み

### 第一次中期経営計画

### 第二次中期経営計画







## 従業員エンゲージメントの向上に向けた取り組み

### 経営陣と職員の対話交流会の実施

#### 役員との対話交流会

のべ約**580**会場  
約**14,000**人が参加

#### 頭取による管理職向け説明会 “一志交流会”

のべ約**26**回  
約**1,100**人が参加

#### 頭取による若手職員向け説明会 “一志交流会 Next”

のべ**2**回  
約**60**人が参加



▲“一志交流会 Next”の様子

経営理念の  
実現に向けて

### 第二次中期経営計画 グループ全役職員の合言葉

→ 全役職員が経営理念を実現しようとする強い気持ちである「志」を一つにして、地域への永続的な貢献に取り組むことを示しています。



etc

## コンサルティング機能の発揮に向けた人財育成

### 組織横断的なプロジェクトの実施

#### 2030プロジェクト

- 若手職員を中心に2030年の姿を検討する「2030プロジェクト」を推進中（2021年度～）

第3期生  
20人が参加中  
(累計参加者数)  
71人



◀ワークショップの様子

#### 人的資本価値強化プロジェクトチーム

- 実践力や専門性の向上に向けて本部・営業店担当者による組織横断的なプロジェクトチームを組成（2023年8月）
- 地域創生に向けた取り組みを通じて能力向上を図る

18人が  
参加中

### 専門人財の確保・育成

第四北越銀行

主な資格  
保有者数  
(2023年9月)

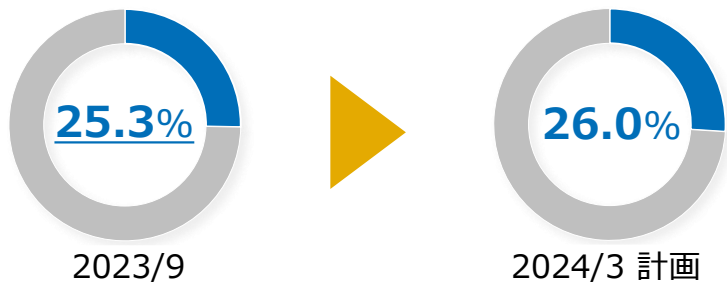
FP1級	中小企業診断士	サステナビリティ 関連検定試験
194人	48人	1,157人
証券アナリスト	ITコーディネーター	情報セキュリティ マネジメント
49人	15人	107人

etc



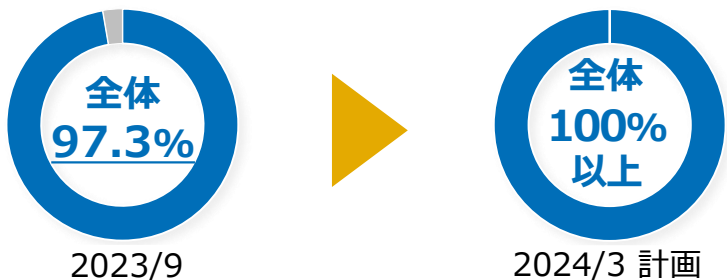
## 多様性の確保に向けた取り組み 第四北越銀行

### 女性管理職比率（代理級以上）の向上



### 育児休暇取得率の向上

※ 各事業年度における「出産した職員及び配偶者の人数」に対する「育児休業を取得した職員の数」の割合

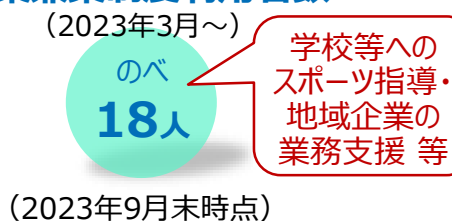


### 多様な人財の活躍促進

#### 経験者採用職員数



#### 副業兼業制度利用者数



## 能力の最大発揮に向けた職場環境づくりの推進

「健康経営優良法人2023」認定取得  第四北越FG  
第四北越銀行  
(2023年3月)

6年連続 取得  
→ 新潟県内企業で  
当行のみ




「プラチナくるみんプラス認定」  
「プラチナえるぼし認定」取得  
(2023年5月)



ダブル 取得  
→ 新潟県内企業で  
当行のみ



「スポーツエールカンパニー2023」  
認定取得 (2023年2月)  第四北越銀行

職員への  
運動機会の提供

職員への  
健康意識向上支援



計画期間：2021/4～2024/3

# 第二次中期経営計画

サステナビリティへの取り組み

- サステナビリティ基本方針に基づき、4つの重要課題に積極的かつ主体的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献する

## 『第四北越フィナンシャルグループ サステナビリティ基本方針』

4つの重要課題

1

地域課題への  
取り組み

2

環境問題への  
取り組み

3

社会との  
信頼関係の確立

4

人財育成と  
職場環境の整備

グループ総合力を活かした  
金融・情報仲介機能の最大発揮

地域・お客さまの  
課題解決支援

自社の取り組みを通じて得た  
ノウハウ・知見を地域へ還元し  
地域全体での取り組みをさらに推進

グループ一体となった  
積極的かつ主体的な取り組み

FG自社による  
CO2削減などの  
サステナビリティへの  
取り組み

サステナビリティ経営の実践

事業基盤である  
環境・社会の維持・向上

経済成長・企業活動の  
持続的な成長

### 第二次中期経営計画 取り組み方針・体制面の強化に向けた主な取り組み

上期

- 「TCFD提言」への賛同表明
- 「サステナビリティ推進委員会」「サステナビリティ推進室」設置
- 環境省「令和3年度ESG地域金融促進事業」の取り組み

下期

- 「サステナビリティ基本方針」制定
- 環境省「TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析パイロットプログラム支援事業」の取り組み

上期

- 中期経営計画の基本戦略に「サステナビリティ経営の実践」を追加
- 「環境・社会に配慮した投融資方針」制定
- 「サステナブルファイナンス目標」「CO2排出量削減目標」設定
- 「一般社団法人SDGsにいがた」理事に頭取が就任
- 「パートナーシップ構築宣言」公表
- 環境省「令和4年度ESG地域金融促進事業」の取り組み

下期

- 環境配慮型店舗の導入
- カーボンニュートラル都市ガス導入
- 「2050年カーボンニュートラル宣言」公表

2021  
年度

2022  
年度

2023  
年度

## サステナビリティの実現に向けた第四北越FG自社の取り組み

### サステナビリティ推進委員会を通じたPDCA

→ FG社長を委員長にグループ各社が参加するサステナビリティ推進委員会を通じて組織横断的なPDCAを継続中

TCFD提言への取り組み

サステナビリティ戦略策定

etc

サステナビリティ推進委員会  
委員長：FG社長

地域ビジネス推進部会

CO2削減部会

BCM※部会

地政学的リスク管理部会

人的資本価値向上部会

※ Business Continuity Management

5つの部会を傘下に設置

### GXリーグへの参画 (2023年5月)

→ カーボンニュートラルの実現に向けた経済社会システム全体の改革を目指す「GXリーグ」へ参画



### FG自社のCO2排出量削減に向けた取り組み

店舗の省エネ化

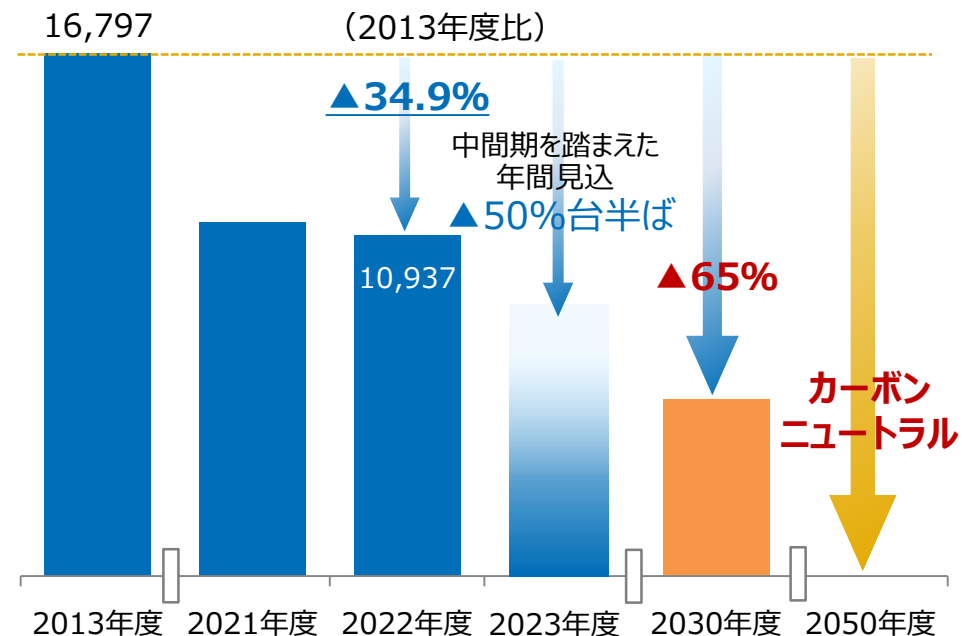
EV車両の導入

再生可能エネルギー由来CO2フリー電力の導入

etc

### CO2排出量削減目標・実績

( t-CO2 ) ■ CO2排出量※



2030年度目標

2013年度比

▲65%減  
(スコープ1・2)

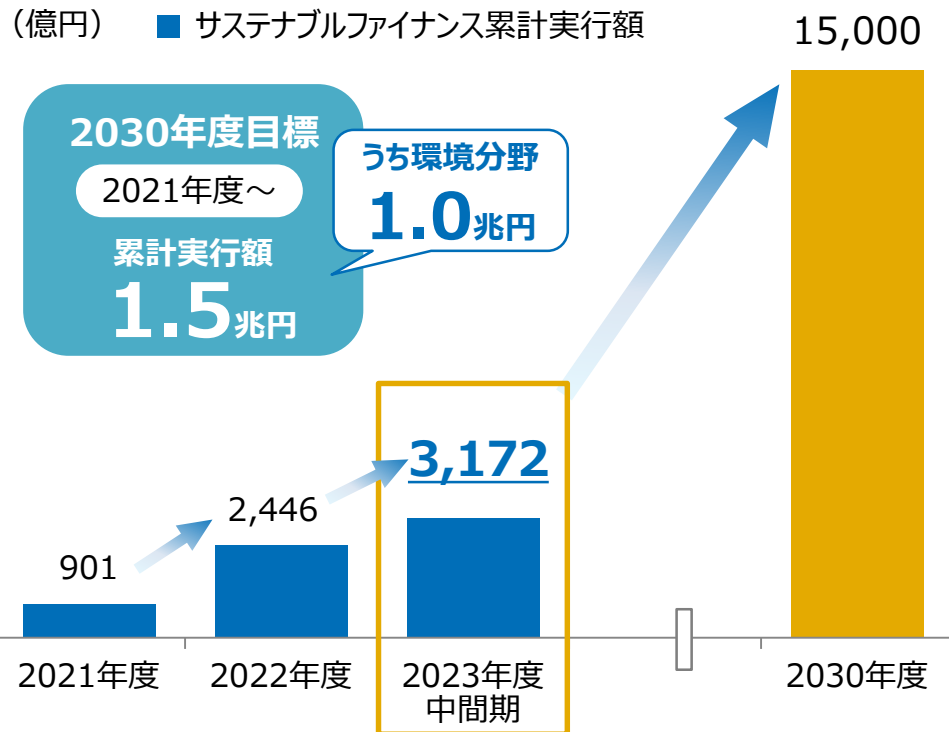
2050年度目標

カーボン  
ニュートラル  
実現

※ 第四北越ITソリューションズ、ブリッジにいがたのFG連結子会社化 (2023年4月) に伴い、過去に遡り計数を修正

## サステナビリティ・SDGsの促進に向けた取り組み①

### サステナブルファイナンス目標・実績



環境・社会課題の  
解決に向けた  
ファイナンス

#### 2023年度中間期までの累計実績

合計	3,172億円
融資	3,003億円
投資	137億円
リース	32億円

### 知見・ノウハウの吸収

環境省  
「令和5年度地域金融機関向けTCFD開示に基づく  
エンゲージメント実践プログラム」への採択  
(2023年7月) **New!**

➔ プログラムへの参加を通じて得た知見・ノウハウを  
お客さまに還元し**地域の脱炭素化を実現**

<プログラム内容>

エンゲージメント  
戦略の策定

エンゲージメントの  
実施

エンゲージメント先  
事業者への  
提案書の作成

### 商品ラインアップの拡充

第四北越銀行  
サステナブルファイナンス  
**6商品まで拡大**

- ポジティブ・インパクト・ファイナンス
- サステナビリティ・リンク・ファイナンス
- SDGsリンク・ファイナンス
- SDGsサポートローン
- サステナビリティ・ファイナンス
- SDGsグリーン・ファイナンス

第四北越リース  
**3年連続で採択**

環境省 **New!**  
「令和5年度ESGリース促進事業」  
指定リース事業者に採択  
(2023年6月)



## サステナビリティ・SDGsの促進に向けた取り組み②

### 地域貢献につながる商品・サービスの提供

#### 寄付型の商品・サービスを通じた地域への還元

##### 第四北越銀行 寄付型私募債の取り組み (2013年～)

- 発行企業様よりいただく手数料の一部を新潟県や市町村・教育機関などへ寄付する寄付型私募債に継続して取り組み中

寄付金累計額  
のべ **987** 団体  
約 **2億300** 万円

(期間：2013年9月～2023年9月)

##### 第四北越証券 寄付型投資信託の取り組み (2019年～)

- お客様よりご負担いただく運用管理費用の一部を新潟県や福祉団体へ寄付する寄付型投資信託に継続して取り組み中

寄付金累計額  
約 **7,200** 万円

(期間：2019年5月～2023年9月)

#### 対象商品

- にいがた未来応援日本株ファンド (愛称：にいがたの架け橋) (2019年5月～)
- にいがた未来応援グローバル株式ファンド (愛称：グローバルにいがた) (2023年7月～) **New!**

### 地域社会との連携強化

#### 自治体との包括連携協定の締結 (2023年6月) **New!**

- 新潟県三条地区において産学官金が連携し相互の強みを掛け合わせ持続可能な地域社会の実現を目指すことを目的とした包括連携協定を締結

- 産 三条商工会議所
- 官 三条市
- 学 三条市立大学
- 金 第四北越FG



▲ 連携協定締結式の様子

#### 地域社会の発展・支援に向けた取り組み

次世代の人材育成に向けた  
創立75周年を迎える  
国立大学法人新潟大学への寄付  
(2023年2月)



▲ 贈呈式の様子

深刻な洪水被害の  
支援に向けた  
新潟県への寄付  
(2023年9月) **New!**



▲ 贈呈式の様子

## 地域への貢献に向けた地域社会とのコミュニケーション

### 「第四北越奨学会」による奨学金給付 (1962年～)



第四北越銀行

公益財団法人  
「第四北越奨学会」

→ 学業優秀でありながら経済的理由により大学への就学が困難な若者に対して返済義務のない奨学金を支給

### 「第四北越まごころの会」によるボランティア活動 (1993年～)



第四北越銀行

役職員の自主参加募金組織  
「第四北越まごころの会」

→ 新潟県内の自然保護ボランティア活動への参加や環境保護・社会福祉団体への寄付活動を実施



▲学生懇談会の様子



● 奨学金支給者数  
(累計)

1,276人

(期間：1963年3月期～  
2023年9月期)

● 新潟県「棚田みらい応援団」  
草取りボランティアへの参加



● 新潟県「トキ保護ボランティア」  
への参加



● トキの野生復帰に向けた支援

→ トキの野生復帰に向けて1968年から佐渡トキ保護センターに物品を寄贈



▲贈呈式の様子

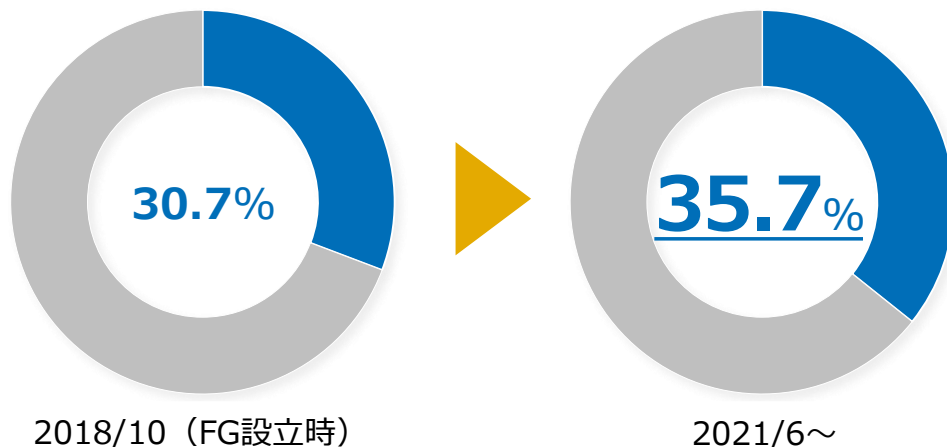


計画期間：2021/4～2024/3

# 第二次中期経営計画

ガバナンス・資本政策

## 取締役会における社外役員の構成割合



## 独立社外取締役の専門性



## 多様性の確保・ダイバーシティの取り組み

### 女性役員の登用

→ 2023年6月 第四北越銀行

### 銀行初の女性取締役が就任

→ 2023年9月末時点  
【銀行部門】女性の支店長：14名  
【グループ会社部門】女性の代表取締役社長：1名  
同 執行役員：1名

### 経営職層等への登用に向けた女性の育成プログラム

- 経営職層や管理職層への女性行員の登用に向けて「女性活躍推進プログラム」を推進中（2021年度～）

参加者数  
(累計)

27名

第2期生  
14名  
参加中

→ 2023年度より参加対象者を銀行からグループ全社の女性職員へ拡大して推進中

New!

(2023年9月末時点)

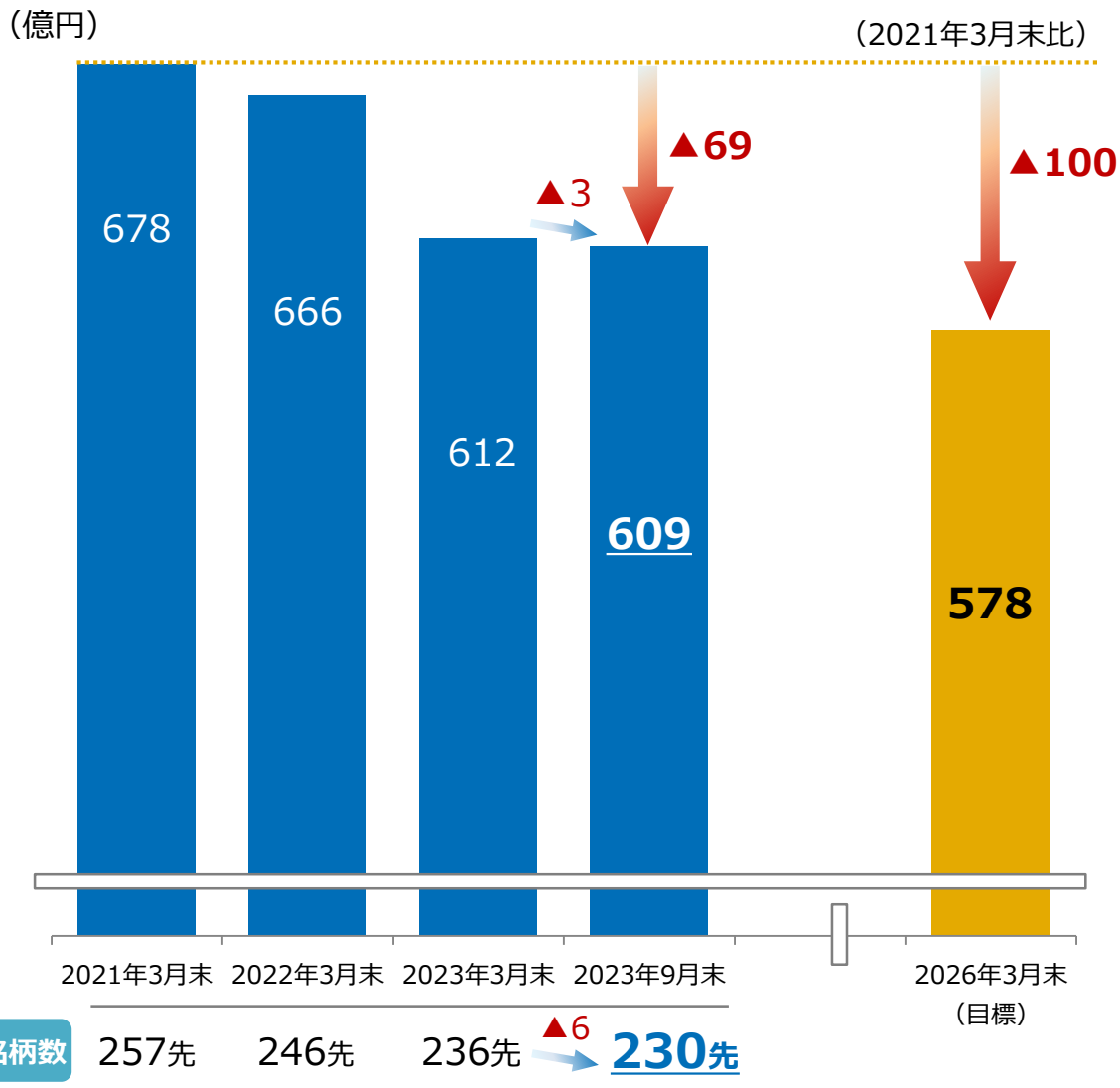
第2期生  
2名  
参加中

### 女性幹部候補育成に向けたTSUBASA連携

- 女性行員のキャリア形成やリーダーシップ向上を目指す各行横断型のメンタリング制度である「クロスメンター制度」を推進中（2022年8月～）



## 政策保有株式の簿価の推移 第四北越銀行



### 政策保有株式の縮減目標

2021年3月末から**5年間**で  
政策保有株式を**▲100億円**縮減  
(第四北越銀行が保有する政策保有株式 (簿価) )

### 2023年度 中間期

2023年3月末比  
**▲3億円 (▲6銘柄)**  
→ 2021年3月末比 **▲69億円**

### <参考> 政策保有株式に関する方針

- 当社および第四北越銀行は、政策保有株式については、取引先および当社グループの中長期的な企業価値の維持・向上に資すると判断される場合において、限定的に保有し、株式保有リスクの抑制や資本の効率性等の観点から、取引先企業との十分な対話を経たうえで、政策保有株式の縮減を進める。
- 個別の政策保有株式については、「政策保有株式の保有に係る基本方針等」を定め、リターンおよびリスクを踏まえた中長期的な経済合理性や、取引先の成長性、将来性、もしくは再生等の観点、取引先と地域経済との関連性の観点および業務提携等の事業戦略上の観点から定期的に取り締役に於て検証し、保有の適否を総合的に判断する。

## 2024年3月期 配当金予想

これからも、地域と共に



普通配当と記念配当の合計で  
1株当たり年間配当金（予想）は  
**140円（前年比+20円）**

配当の内容	1株当たり年間配当金		
	中間配当金	期末配当金 (予想)	合計
<b>2024年3月期 (予想)</b>	<b>70円00銭</b>	<b>70円00銭</b>	<b>140円00銭 (前年比+20円)</b>
普通配当	65円00銭	65円00銭	130円00銭 (同+10円)
記念配当	5円00銭	5円00銭	10円00銭 (同+10円)

## 15億円の自己株式の取得

New!

<取得に係る主な事項の内容>

取得株式	当社普通株式
取得し得る株式の総数	<b>60万株（上限）</b>
取得価格の総額	<b>15億円（上限）</b>
取得期間	2023年11月15日～2024年3月22日 但し、E-Ship信託※による株式取得（総額約27億円）終了後より取得を開始

※第四北越FG従業員持株会専用信託（E-Ship信託）

## 株主還元方針

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために  
収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ  
安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします

- 配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処といたします
- 当期純利益の増強を基本として、ROE向上に取り組んでいく方針であり中長期的に5%以上を目指します

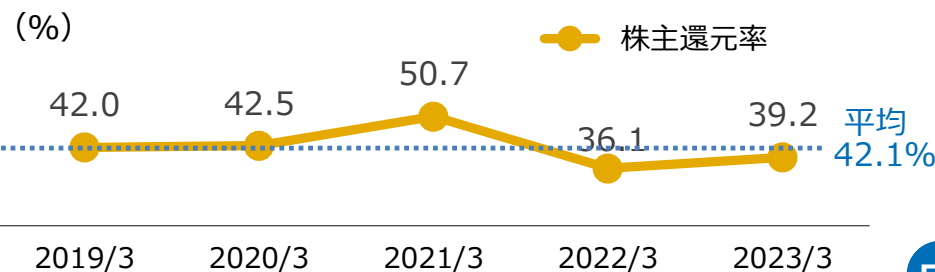
## これまでの株主還元の実績

決算期	1株当たり 配当額(年額)	配当性向	株主還元率
2019年3月期	期末 60円 中間 第四銀行 45円 北越銀行 30円	35.0%	※1 42.0%
2020年3月期	120円	42.5%	42.5%
2021年3月期	120円	50.7%	50.7%
2022年3月期	120円	36.1%	36.1%
2023年3月期	120円	30.6%	※2 39.2%
2024年3月期（予想）	140円	31.2%	—

※1：両行の連結当期純利益の合算値を分母として算出。

2019年2月～3月にかけて自己株式取得を実施済（取得価額999,689,000円）

※2：2023年2月～3月にかけて自己株式取得を実施済（取得価額1,499,887,200円）



## PBRの改善に向けて

**PBR** 

(株価純資産倍率)

**ROE** 

(自己資本利益率)

→ 経営計画の  
着実な実行

### 第二次中期経営計画

- 3大シナジーの発揮 (P21~P37)

合併  
シナジー

グループ  
シナジー

TSUBASA  
連携シナジー

- 政策保有株式縮減 (P50)
- 株主還元方針等 (P51)

**PER** 

(株価収益率)

→ 成長期待の  
醸成等

- 地域とともに持続的な成長の実現
- 人的資本価値の向上
- 情報開示の充実化
- 株主・投資家とのエンゲージメント強化

Next!

**第三次中期経営計画**  
(2024/4~)

→ 企業価値の  
更なる向上

## ROE・PBRの推移

第一次中期経営計画

第二次中期経営計画

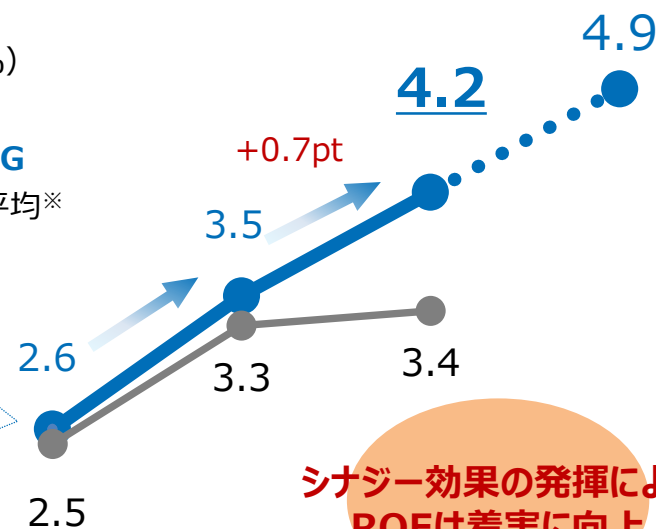
**ROE** (%)

● 第四北越FG

● 地方銀行平均\*

(2021/1)  
銀行合併  
新銀行誕生

第四北越銀行



シナジー効果の発揮により  
ROEは着実に向上

2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期  
計画

**PBR**

(倍)

第四北越  
FG

0.28

+0.08

0.25

**0.33**

地方銀行  
平均\*

0.26

0.23

0.29

2023年  
9月末

**0.38**

\* 地方銀行平均：東京証券取引所に上場している地方銀行の平均値（当社試算）

# ***Appendix***

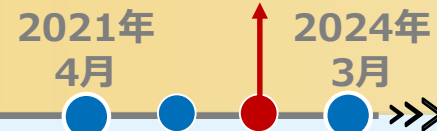


## 第二次中期経営計画

銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2023年度  
第二次中期経営計画最終年度



### 最重要テーマ

# シナジー効果の発揮

## 合併シナジー の最大化

ノウハウの共有  
重複機能の整理  
経営資源の再配分



## グループシナジー の最大化

FGグループ会社機能の  
最大限の活用



## TSUBASA 連携シナジーの 最大化

地銀最大規模の  
スケールメリットの活用



経営指標		2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	2024年3月期	
				前年同期比	計画
収益力の 強化	連結当期（中間）純利益*1	123億円	<b>138億円</b>	14億円	<b>201億円</b>
	中小企業向け貸出平残増加率*2	1.0%	<b>0.5%</b>	－	<b>5.0%</b>
グループの 成長性	中小企業向け貸出平残	19,252億円	<b>19,518億円</b>	266億円	<b>20,384億円</b>
	消費性貸出平残増加率*2	2.2%	<b>2.8%</b>	－	<b>3.6%</b>
	消費性貸出平残	13,975億円	<b>14,533億円</b>	557億円	<b>14,639億円</b>
	非金利収益増加率*3	22.3%	<b>4.3%</b>	－	<b>11.1%</b>
	非金利収益	128億円	<b>133億円</b>	5億円	<b>291億円</b>
	グループ会社収益増加率*4	▲33.5%	<b>45.4%</b>	－	<b>24.2%</b>
	グループ会社収益	12億円	<b>18億円</b>	5億円	<b>35億円</b>
	経営の 効率化	OHR（連結）	61.3%	<b>65.2%</b>	3.9pt
	ROE（連結）	2.9%	<b>3.2%</b>	0.3pt	<b>4.9%</b>
健全性の 維持・向上	連結自己資本比率	10.46%	<b>10.21%</b>	▲0.25pt	<b>9.8%</b>

\*1：親会社株主に帰属する当期（中間）純利益 \*2：部分直接償却前の年間平均残高 \*3：役務取引等利益及び国債等債券損益を除くその他業務利益等の合計額（除く市場運用部門収益・外貨調達コスト）（算出方法の変更に伴い、過年度との比較の観点から、過去に遡り変更した計数と比較した数値）

\*4：持株会社および銀行を除くグループ各社の親会社株主に帰属する当期（中間）純利益の合計



# ポートフォリオ変革の深化に向けた6指標

〈銀行部門〉  
コア業務粗利益に占める  
「貸出金利息」と「非金利収益」の比率を高める



〈グループ会社部門〉  
連結当期純利益に占める  
「グループ会社収益」の比率を高める

ポートフォリオ変革の深化に向けた6指標	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	前年同期比	2024年3月期 目標
①総貸出に占める中小企業貸出比率	37.1%	<b>36.7%</b>	▲0.4pt	<b>38.2%</b>
②総貸出に占める消費性貸出比率	27.0%	<b>27.3%</b>	0.4pt	<b>27.4%</b>
③消費性貸出に占める無担保ローン比率	8.4%	<b>8.6%</b>	0.2pt	<b>8.3%</b>
④コア業務粗利益に占める 資産運用アドバイス収益比率	8.0%	<b>9.6%</b>	1.6pt	<b>13.0%</b>
⑤コア業務粗利益に占める 金融ソリューション収益比率	14.5%	<b>16.7%</b>	2.3pt	<b>16.4%</b>
⑥連単倍率 FG連結当期（中間）純利益÷銀行単体当期（中間）純利益	1.34倍	<b>1.31倍</b>	▲0.03倍 <sup>※</sup>	<b>1.30倍</b>

※ 銀行を除くグループ会社収益は増益も、銀行収益が大幅に増益となったことから、前年同期比で減少

# 地域への貢献に関する評価指標

地域への貢献に関する評価指標		2023年9月期 実績	2023年9月期 目標比	2024年3月期 目標	
		地域への貢献度合いを測る最重要目標	第四北越銀行をメインバンクとしてお取引いただいている企業数	14,477先	▲797先 <sup>*1</sup>
地域経済を牽引する担い手の維持・増加	創業・第二創業に関与した件数	938件	203件	1,850件	
	事業承継を支援した先数	939先	69先	1,740先	
企業の付加価値向上支援	事業性評価に基づく融資先数	6,912先	772先	6,400先	
	事業性評価に基づく融資残高	15,195億円	5億円	16,000億円	
	経営者保証に関するガイドラインの活用先数	7,656先	▲1,384先 <sup>*2</sup>	9,500先	
	経営指標等が改善した取引先数	9,679先	29先	7,700先	
	本業支援件数	1,815件	369件	2,850件	
	経営改善計画の策定支援件数	288件	38件	480件	
事業領域の拡大による新たな価値提供	地域商社を通じた活動	販路開拓支援先数（累計）	599先	19先	600先
		生産性向上支援に向けたFG連携活動件数（累計）	227件	4件	270件
	人材紹介会社を通じた活動	企業の課題解決につながる人材マッチング件数（累計）	206件	27件	210件

\*1：県内事業所数の減少やゼロゼロ融資の繰り上げ返済等の影響 \*2：取引先数の減少（\*1）やコロナ禍・物価高等の影響

# 2023年9月期決算 概要 (損益の状況)

● FG連結の経常利益、中間純利益のいずれも2023年5月公表の業績予想値および前年実績を上回る

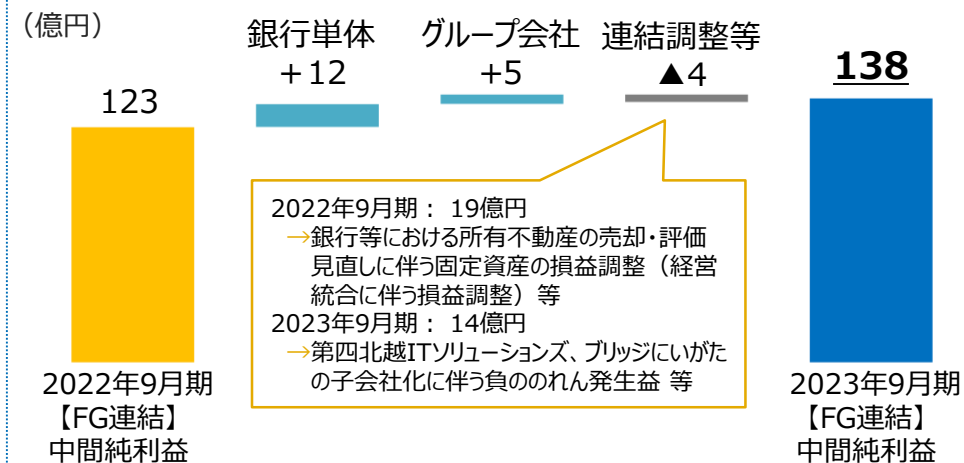
FG連結 (億円)	2023年9月期 決算		業績予想 (2023/5公表)	
	前年同期比	業績予想比	業績予想	業績予想比
1 経常利益	176	3	126	50
2 中間純利益※ <sup>1</sup>	138	14	100	38

※<sup>1</sup> 親会社株主に帰属する中間純利益

グループ会社 (億円)	2023年9月期 決算		2022年9月期 決算	
	前年同期比	2023年9月期 決算	前年同期比	2022年9月期 決算
3 中間純利益※ <sup>2</sup>	18	5	12	

※<sup>2</sup> 持株会社・銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する中間純利益の合計

## <FG連結> 増減要因



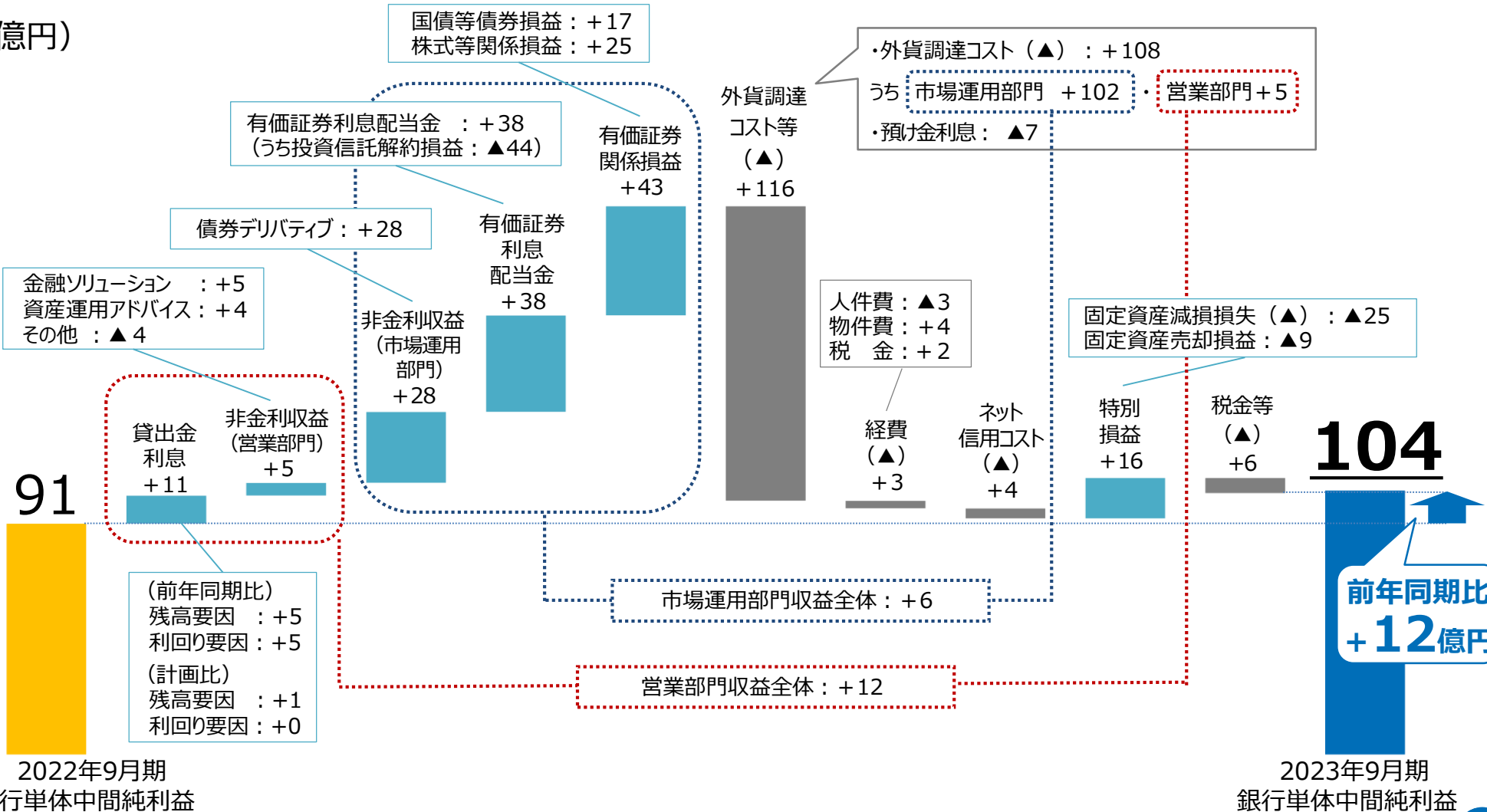
銀行単体 (億円)	2023年9月期 決算		2022年9月期 決算	
	前年同期比	2023年9月期 決算	前年同期比	2022年9月期 決算
4 業務粗利益	▲ 18	428		446
5 (コア業務粗利益)	▲ 35	460		496
6 資金利益	▲ 52	316		369
7 (うち貸出金利息)	11	242		230
8 (うち有価証券利息配当金)	38	185		147
9 (うち資金調達費用) (▲)	132	161		28
10 役務取引等利益	3	74		71
11 その他業務利益	31	36		5
12 (除く国債等債券損益)	13	68		55
13 (うち国債等債券損益)	17	▲ 31		▲ 49
14 経費	3	291		287
15 実質業務純益	▲ 21	137		159
16 コア業務純益	▲ 39	169		209
17 (除く投資信託解約損益)	5	169		164
18 業務純益	▲ 23	138		162
19 臨時損益	26	10		▲ 16
20 経常利益	3	149		145
21 特別損益	16	▲ 0		▲ 17
22 中間純利益	12	104		91
23 <ネット信用コスト> (▲)	4	21		17
24 <有価証券関係損益>	43	▲ 9		▲ 53
25 <経営統合関連費用 (全体) > (▲)※ <sup>3</sup>	▲ 1	13		14

※<sup>3</sup>「経費」「臨時損益」等に計上されている経営統合関連費用の合計

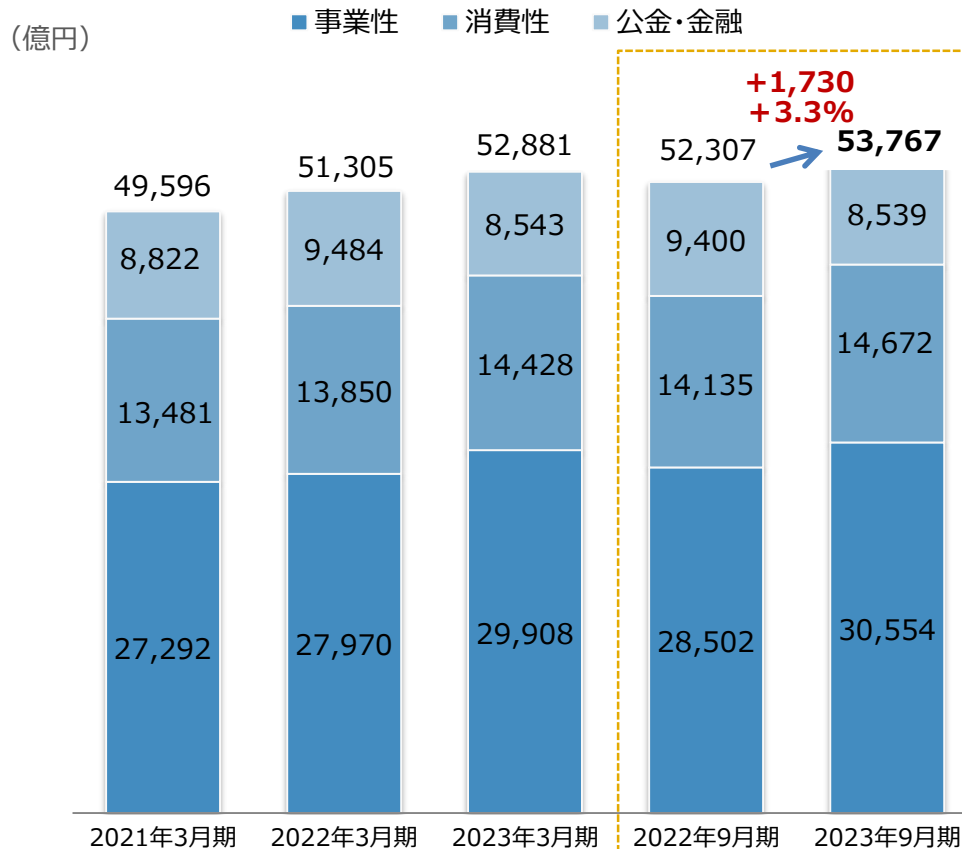
# 2023年9月期決算 概要 (損益の状況)

## <銀行単体> 増減要因 第四北越銀行

(億円)



## 貸出金残高（末残）



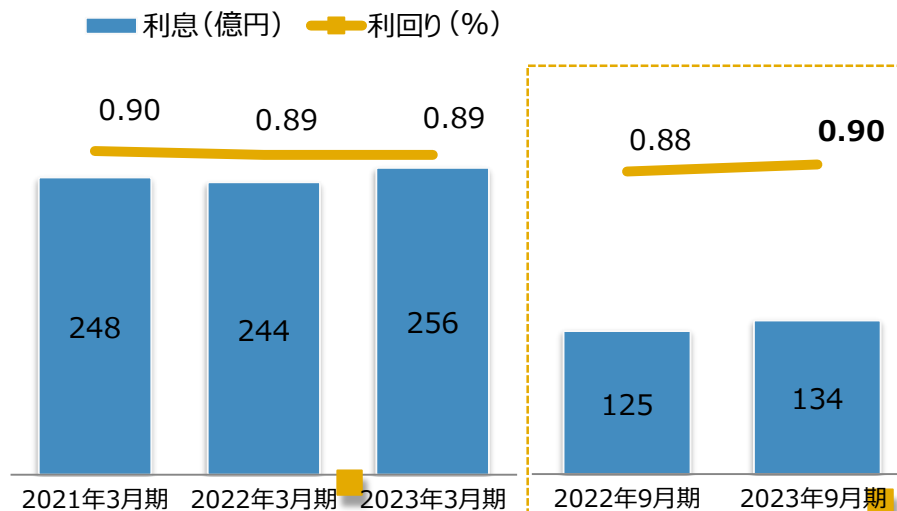
【参考】

項目	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2022年9月期	2023年9月期
平均残高	49,764	50,329	52,004	51,738	53,073
総貸出金利回り	0.92%	0.90%	0.90%	0.88%	0.91%

2023年9月期比2022年9月期増加額: +1,334 (+2.57%)

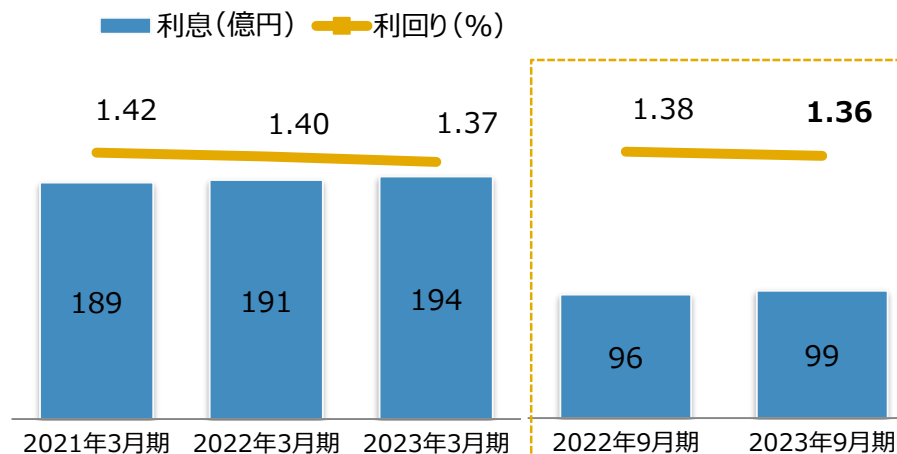
## 事業性貸出金利息・利回り

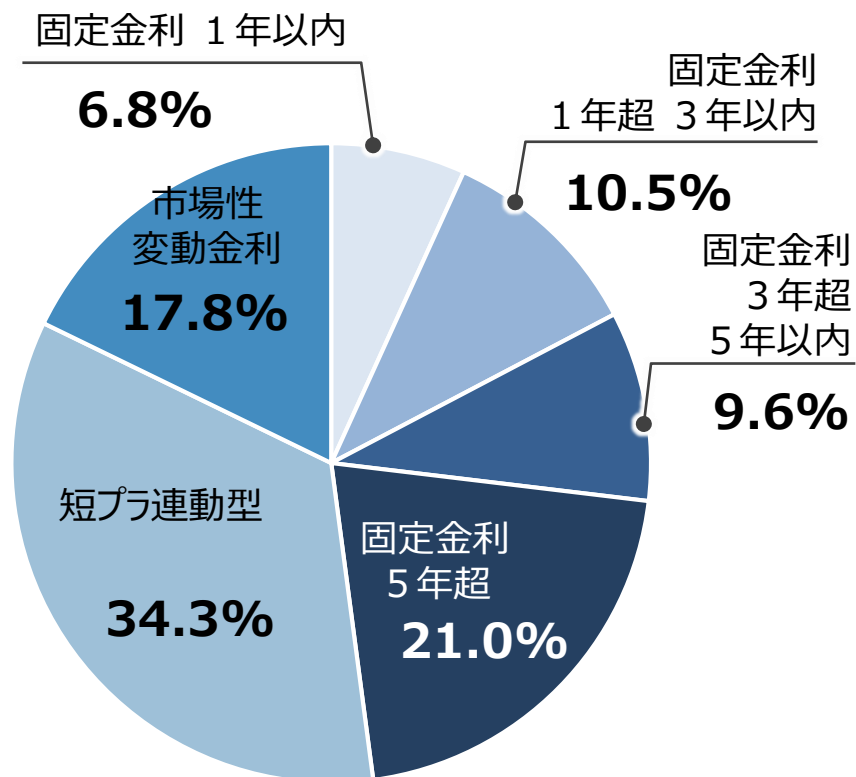
※不計上利息考慮前



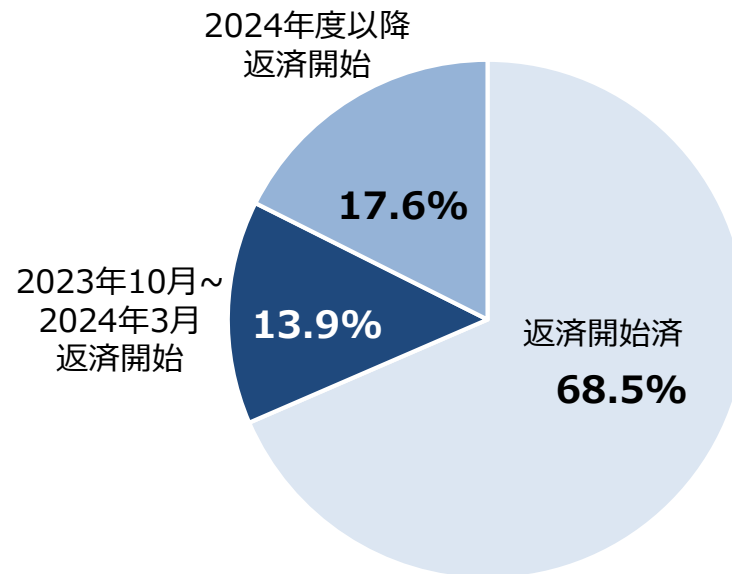
## 消費性貸出金利息・利回り

※不計上利息考慮前



貸出金の構成（貸出金全体）  
（2023年9月期）

(注) 延滞貸出除く

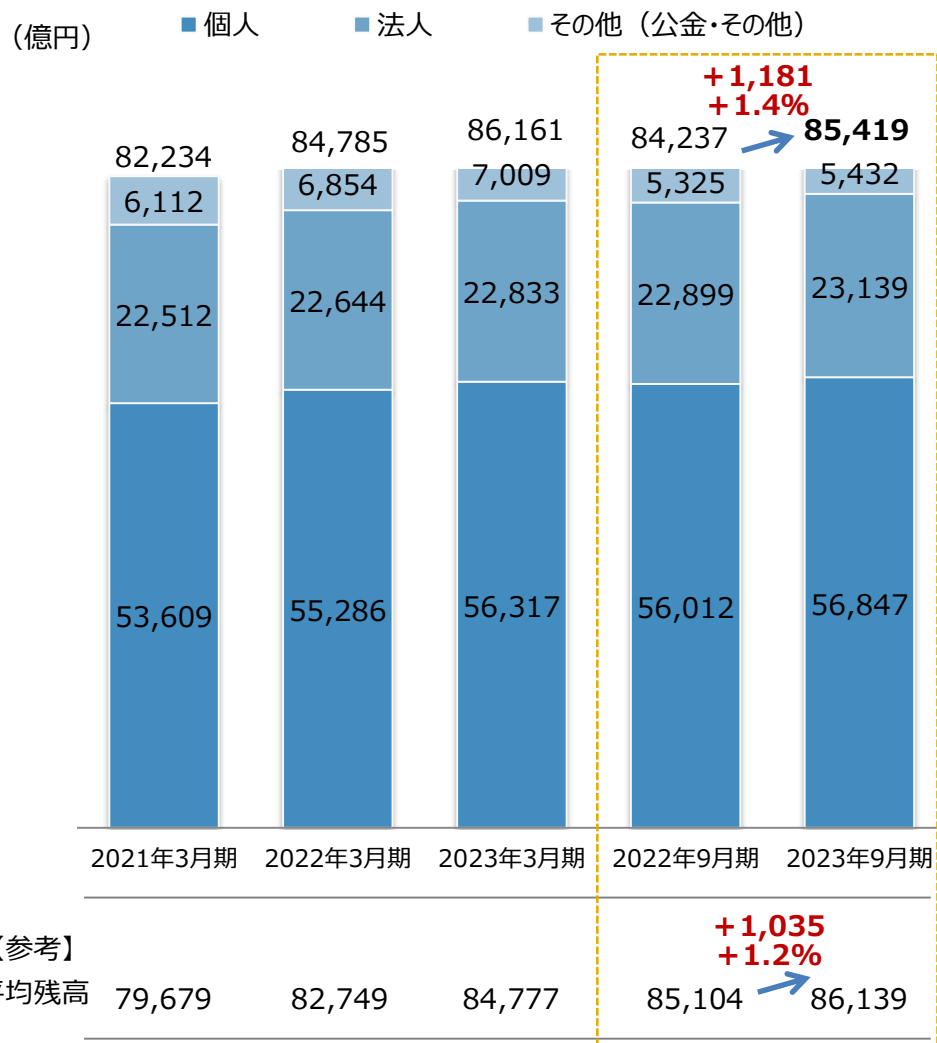
実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）  
取り組み先の状況（2023年9月期）

(注) 債権数ベース

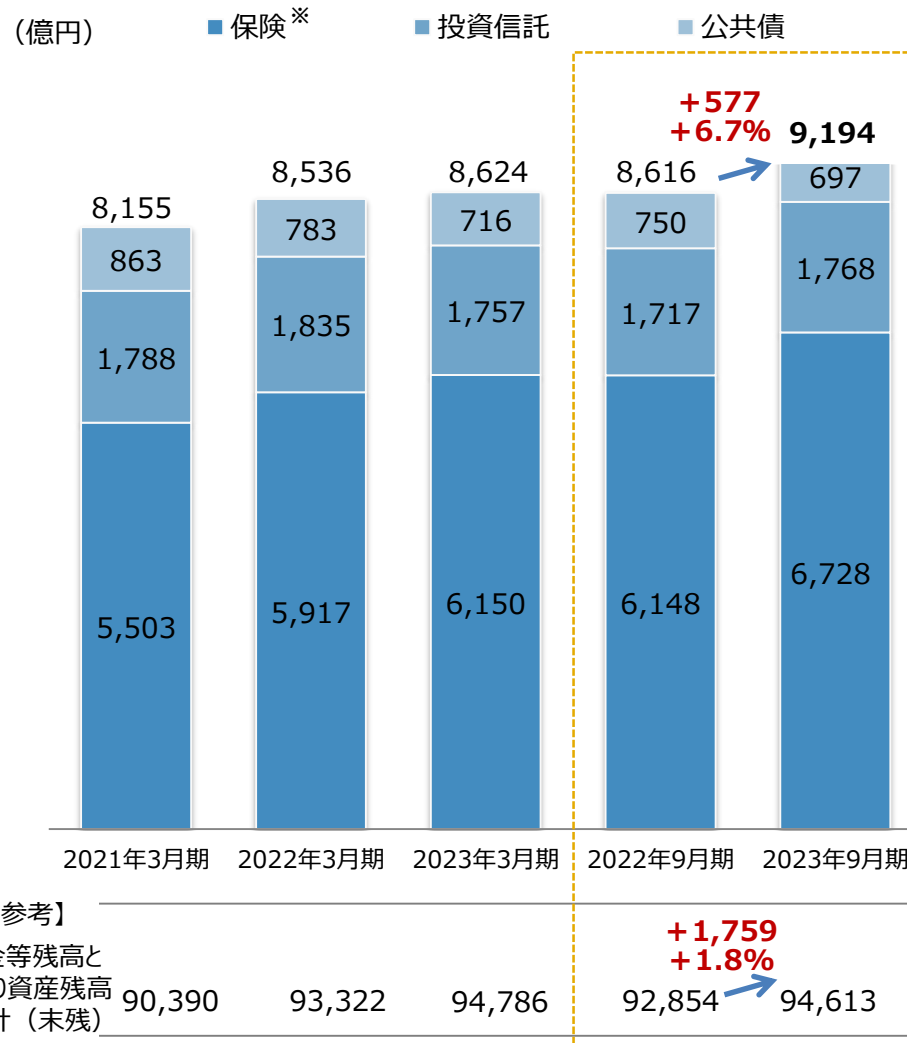
## 実質無利子・無担保融資の残高・延滞割合

債権種類	債権数	比率	貸出残高（億円）	
			残高	比率
全体	6,346	—	984	—
正常債権	6,260	98.6%	978	99.3%
延滞債権	86	1.4%	6	0.7%

## 預金等（含む譲渡性預金）残高（未残）

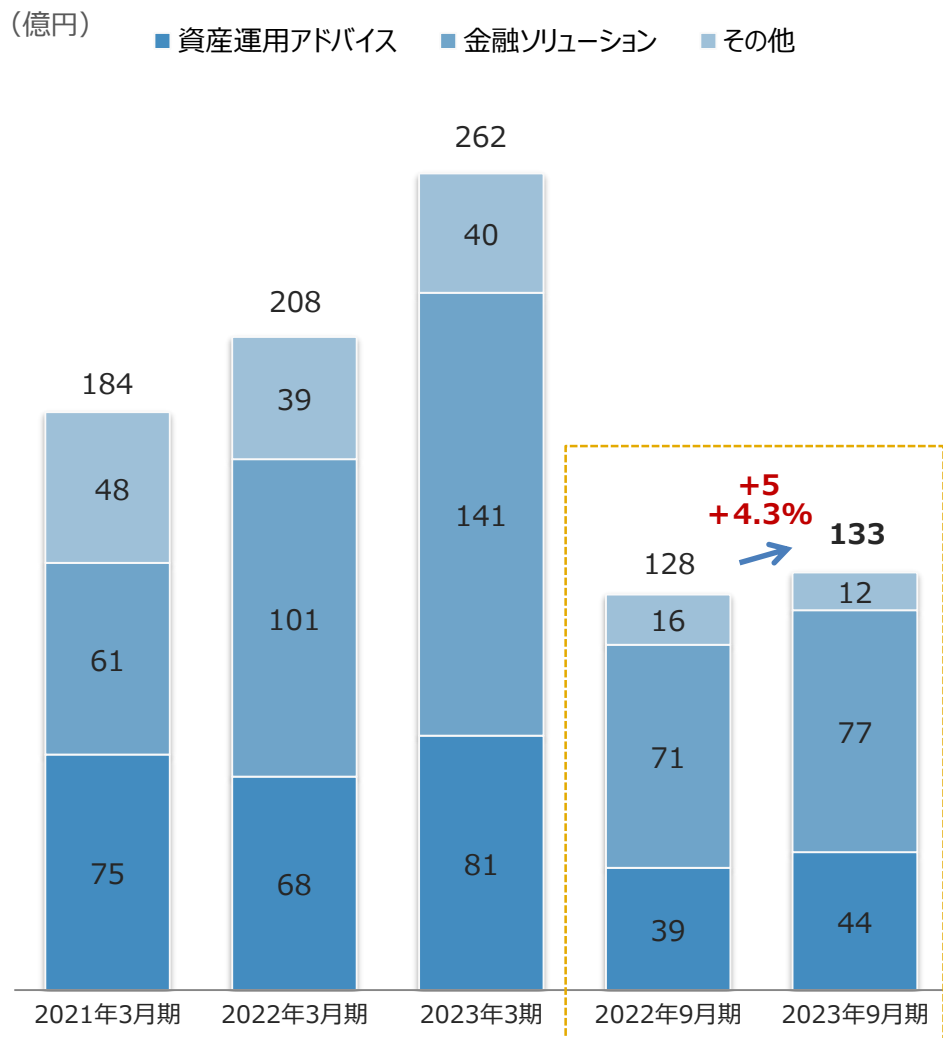


## 預かり資産残高（未残）

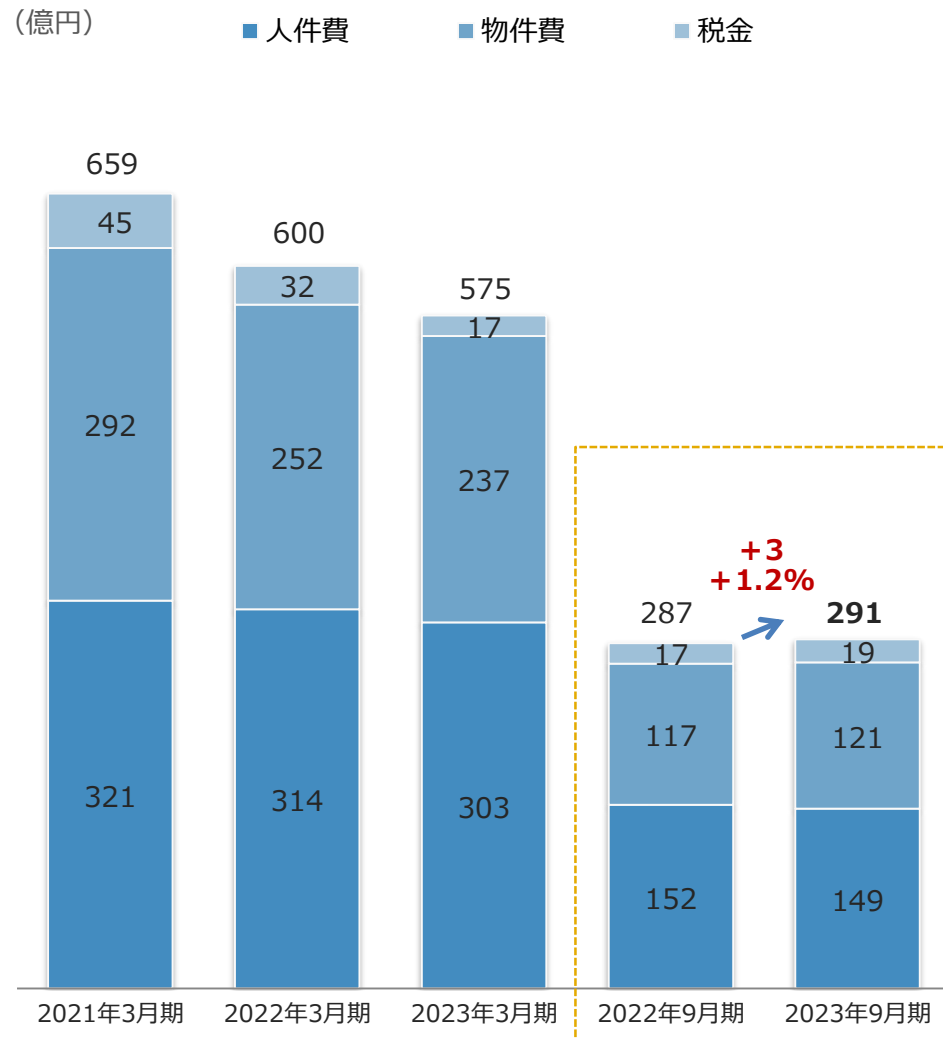


\*保険残高については、子銀行の合併に伴い算出方法を統一したため、過年度との比較の観点から、過去に遡り変更した計数との比較を記載しております。

## 非金利収益 ※



## 経費



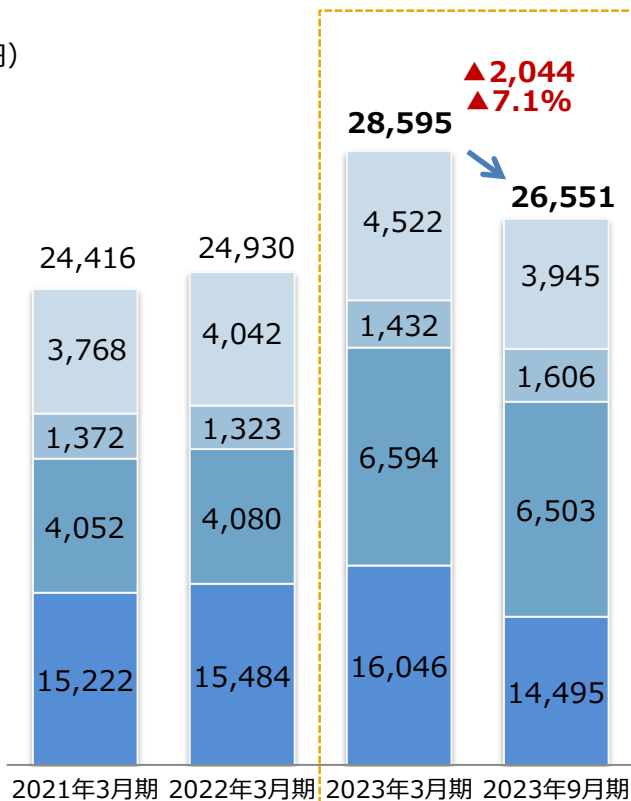
※ 役務取引等利益及び国債等債券損益を除くその他業務利益等の合計額  
(除く外貨調達コスト・市場運用部門収益)



有価証券残高（未残）

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



利回り 0.78% 0.70% 1.09% 1.33%

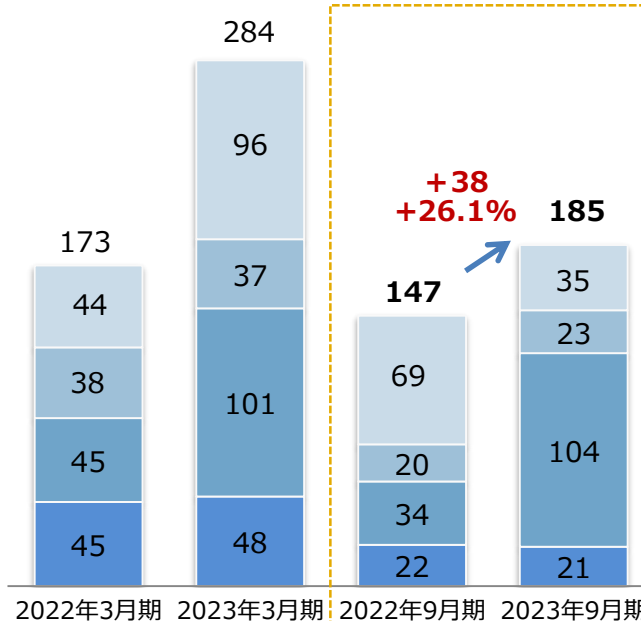
デュレーション (円債) 5.74年 5.82年 5.67年 4.50年  
(外債) 4.41年 5.11年 2.94年 2.91年

※デュレーションは金利スワップによるヘッジ考慮後で算出

有価証券利息配当金

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



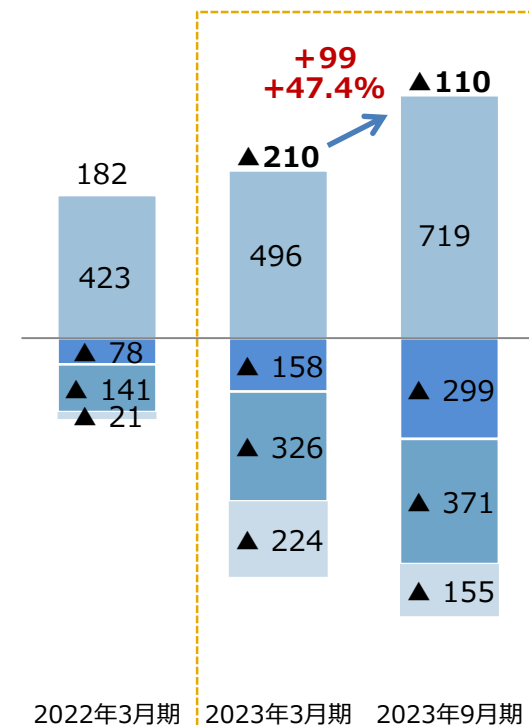
計画比 +10 +57 +59 +10

※計画比は外貨調達等コスト考慮後で表示

評価損益

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



国内株価の上昇を主因に、前年度末比+99億円増加の▲110億円

※国内債券及び外国証券については、金利スワップによる繰延ヘッジ考慮後の評価損益

## 有価証券残高（未残）の推移

(億円)

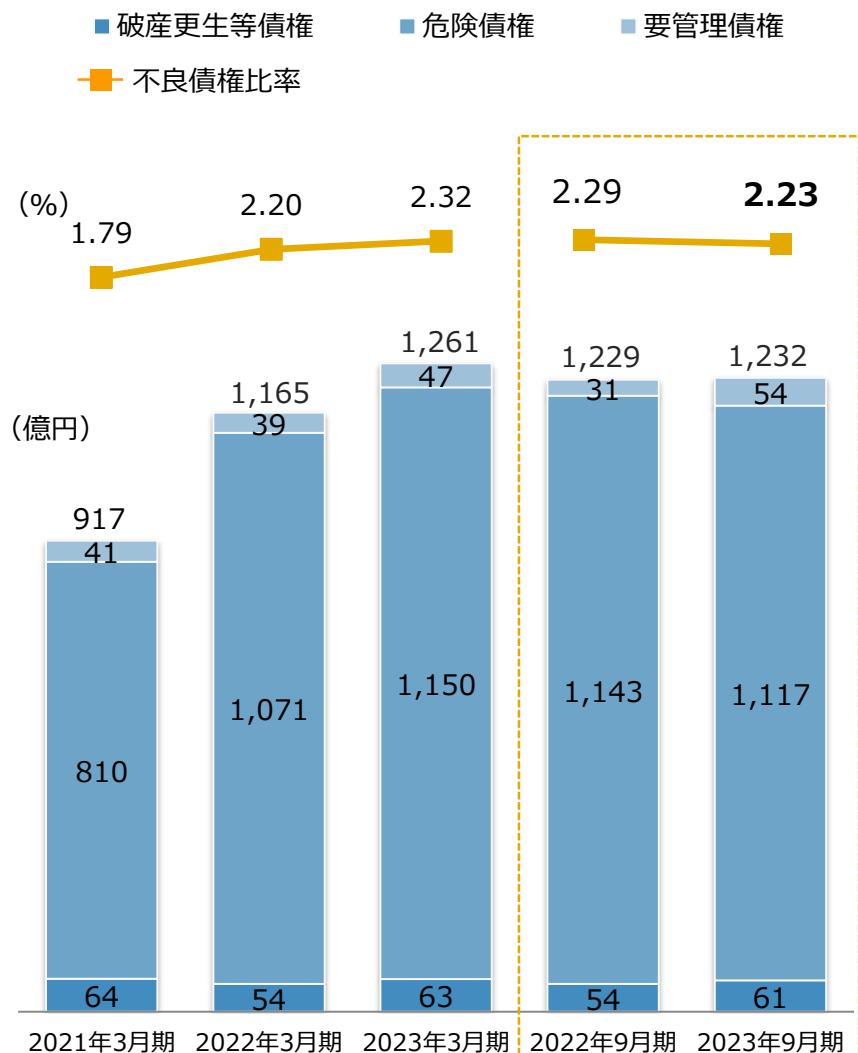
	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2023年 9月期
国債	5,728	5,536	6,030	4,592
地方債	6,433	7,247	7,682	7,766
公社公団債	769	713	654	609
金融債	66	27	20	10
事業債	2,225	1,958	1,658	1,516
株式	1,372	1,323	1,432	1,606
外国証券	4,052	4,080	6,594	6,503
その他証券	3,768	4,042	4,522	3,945
合計	24,416	24,930	28,595	26,551

有価証券残高増減内訳  
(2023年3月末比)

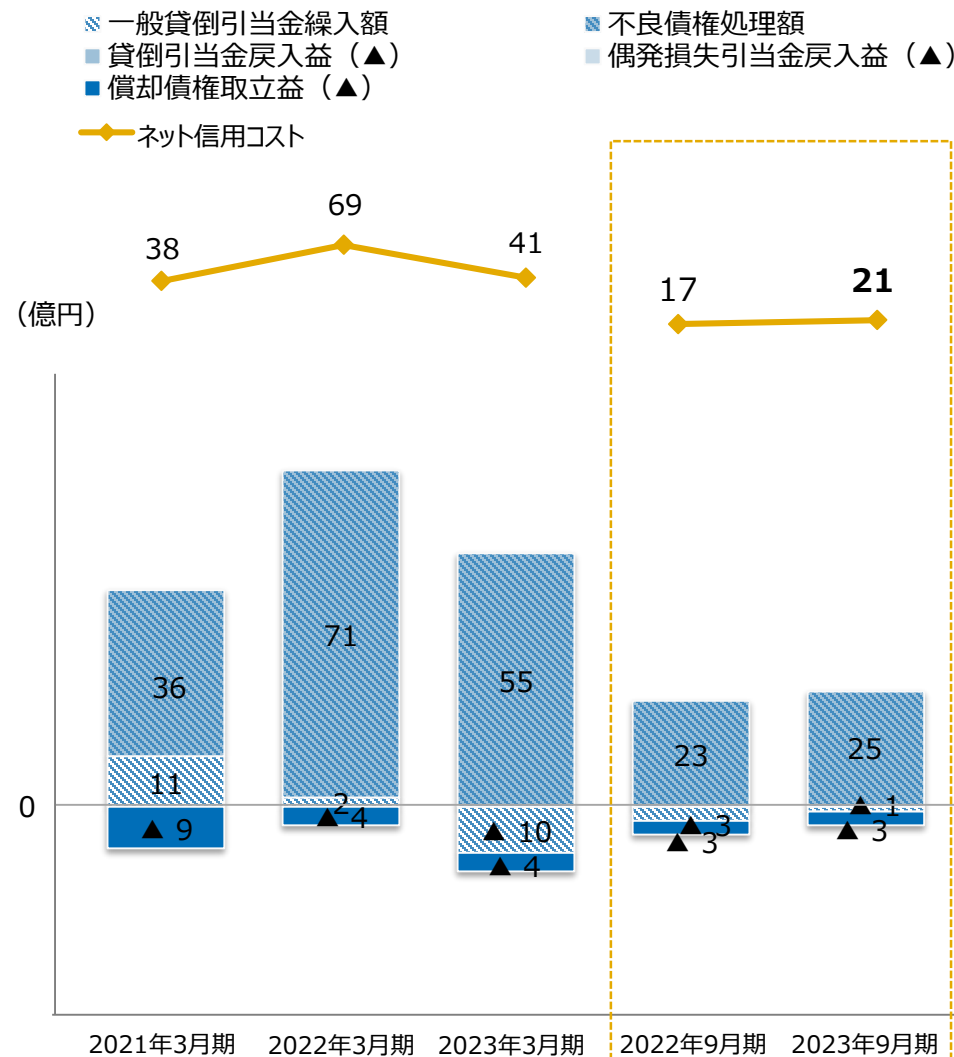
(億円)

国内債券（利回り：0.28%）	▲ 1,551
購入	1,940
売却	▲ 2,645
その他（償還・時価要因等）	▲ 845
株式（利回り：5.26%）	174
購入	66
売却	▲ 113
その他（償却・時価要因等）	221
外国証券（利回り：2.96%）	▲ 90
購入	824
売却	▲ 926
その他（償還・時価要因等）	11
その他証券（利回り：1.65%）	▲ 576
購入	2,659
売却	▲ 3,534
その他（償還・時価要因等）	298

## 不良債権比率と不良債権額



## ネット信用コスト



(単位：億円)	2023年9月期			2024年3月期 下半期 (計画)
	配賦資本額	リスク量 (実績)	使用率	配賦資本額
配賦資本	3,335	1,514	45.4%	3,071
信用リスク (貸出金)	430	277	64.4%	430
市場リスク	2,200	1,085	49.3%	2,150
政策投資株式リスク	145	26	17.9%	40
オペレーショナル・リスク	130	125	96.2%	130
ストレス事象対応資本 (急激な環境変化を想定して 確保している資本)	430	0	0.0%	321
リスクバッファー (未配賦資本)	226	0	0.0%	551
配賦原資 (貸倒引当金控除後)	3,561	—	—	3,622

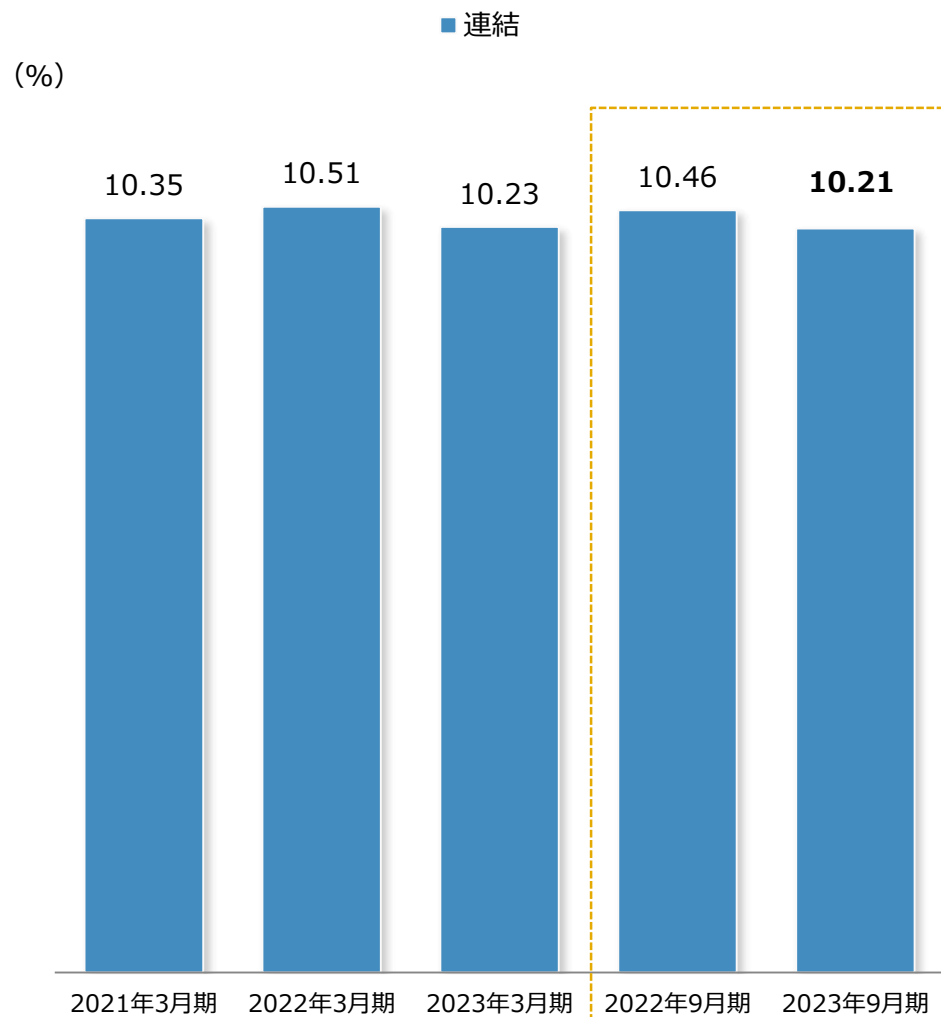
リスク量の算定方法

- 市場リスク、信用リスク、政策投資株式リスク
  - 信頼区間：全て99%
  - 保有期間：貸出金1年、貸出金以外6ヶ月

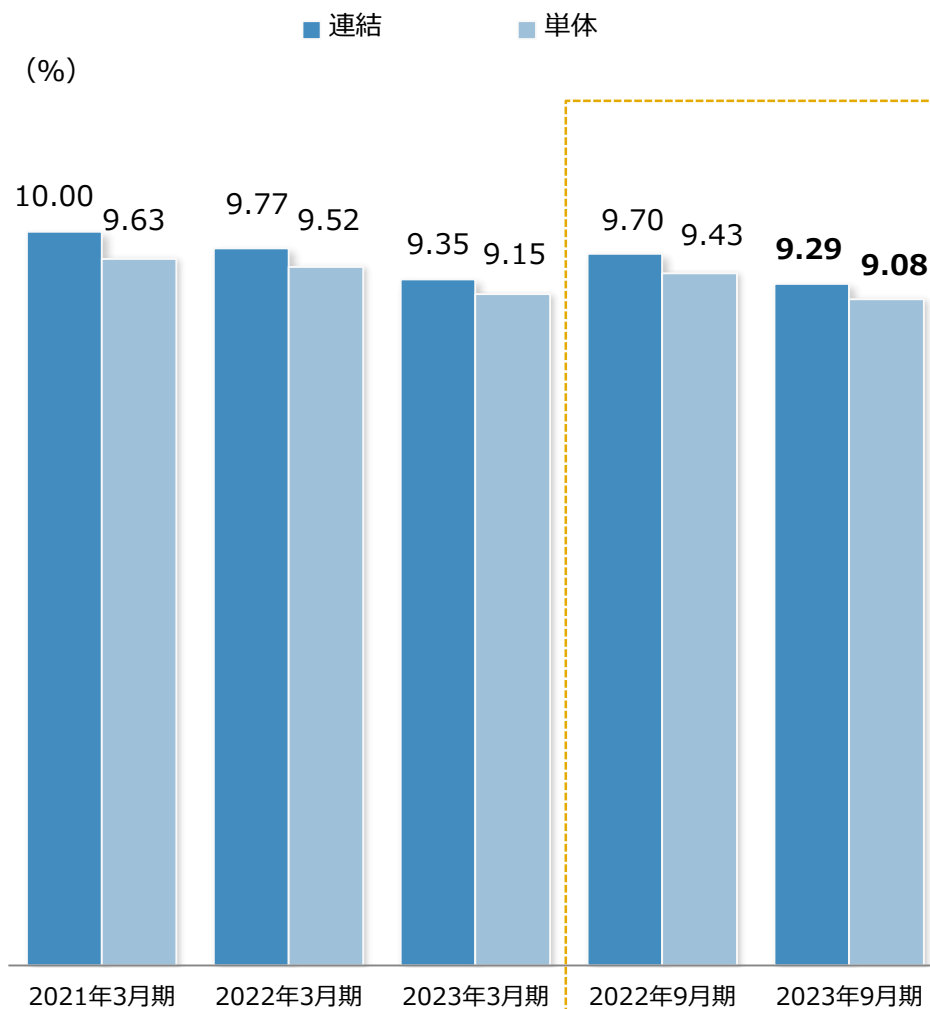
- 政策投資株式については、  
リスク量 = (VaR - 評価損益) 但し ≥ 0

- オペレーショナル・リスク
  - 粗利益配分手法

## FG連結



## 第四北越銀行



# グループ各社の状況①



# グループ各社の状況②

(百万円)

会社名	主要な事業の内容	資本金	売上高（経常収益）			経常利益			当期純利益		
			2022年 9月期	2023年 3月期	2023年 9月期	2022年 9月期	2023年 3月期	2023年 9月期	2022年 9月期	2023年 3月期	2023年 9月期
(株)第四北越銀行	銀行業	32,776	62,541	122,639	79,029	14,587	22,568	14,902	9,188	14,847	10,484
第四北越証券(株)	証券業	600	2,426	4,183	2,545	985	1,268	943	487	670	666
第四北越キャリアブリッジ(株)	人材紹介業、企業の人材に関するコンサルティング業務	30	88	199	106	21	67	37	17	51	24
第四信用保証(株)	信用保証業務	50	911	1,843	941	674	1,538	498	443	1,011	327
北越信用保証(株)	信用保証業務	210	284	655	263	214	588	235	147	421	164
第四北越キャピタルパートナーズ(株)	ベンチャーキャピタル業務	20	19	35	29	4	4	7	3	3	5
第四北越リサーチ&コンサルティング(株)	コンサルティング業務、経済・社会に関する調査研究・情報提供業務	30	208	389	211	24	25	35	16	16	22
第四北越リース(株)	リース業	100	8,344	16,604	8,727	△ 187	118	377	△ 115	96	250
北越リース(株)	リース業	100	2,072	3,896	1,604	149	248	106	98	164	70
第四コンピューターサービス(株)	コンピュータ関連業務	15	488	1,014	537	62	103	36	41	152	21
第四ジェーシービーカード(株)	クレジットカード・信用保証業務	30	792	1,579	830	240	454	250	160	300	163
第四ディーシーカード(株)	クレジットカード業務	30	442	876	463	26	46	16	17	31	10
北越カード(株)	クレジットカード・信用保証業務	20	375	732	348	85	162	33	56	107	21
(株)第四北越ITソリューションズ	コンピュータ関連業務	100	1,449	3,177	1,679	113	240	127	74	152	82
(株)ブリッジいいがた	地域商社事業	70	86	248	126	△ 12	10	△ 4	△ 12	8	△ 4

2023年4月：(株)第四北越ITソリューションズをFG100%子会社化、(株)ブリッジいいがたをFG連結子会社化





**DAISHI HOKUETSU**  
Financial Group

**第四北越フィナンシャルグループ**

**お問い合わせ先**

**第四北越フィナンシャルグループ**

**経営企画部**

**T E L 025-224-7111**

**E-mail g113001@dhbk.co.jp**

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。